

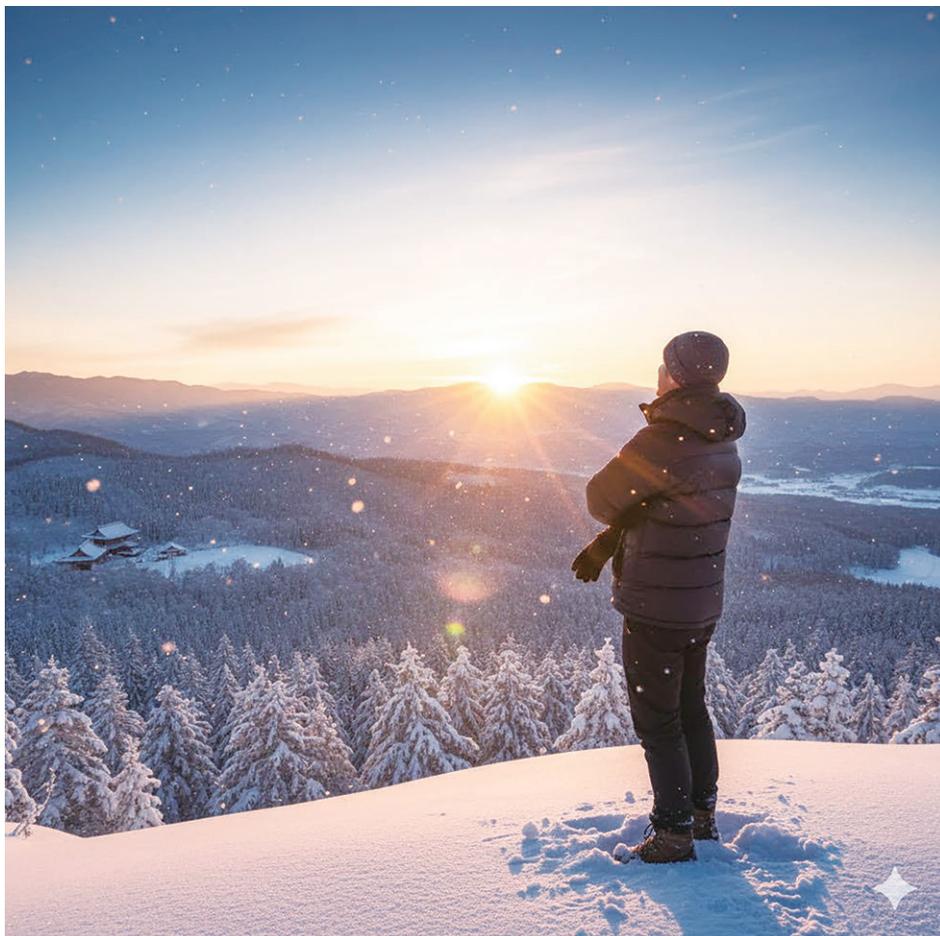
SSK

Report

Vol.182
冬号
2026年

埼玉県私塾協同組合 ● 広報誌

<https://www.saikumi.net>



開智未来高等学校生徒作品

● 広告・目次

佐野日本大学高等学校	11	岩倉高等学校	11	株式会社SYM	11	千代田中学校・高等学校	14
星槎国際高等学校	15	東洋大学京北中学高等学校	15	声の教育社	19	豊南高等学校	22
昌平中学・高等学校	23	文京学院大学女子中学校高等学校	33	駒込中学校・高等学校	34	高野山高等学校	35
中央大学附属中学校・高等学校	41	藤枝明誠中学校・高等学校	44	埼玉平成高等学校	45		
駿台学園中学・高等学校	46	秀明中学校・高等学校	47	進学研究会(進研テスト)	50		

●目次

決意も新たに、一意専心で突き進もう！●川邊 洋一〔埼玉県私塾協同組合理事長〕……………	03
私協同組合連合会「全国研修大会」参加御礼●坂田 義勝〔英進学院塾長〕……………	04
こどもがひらくマルチバース 第一界●聖徳学園小学校生徒作品……………	06
学校紹介●佐賀 博〔西武台高等学校 西武台新座中学校 理事長 校長〕……………	08
学校紹介●河合 孝允〔駒込中学 高等学校 校長〕……………	10
学校紹介●鹿田 正昭〔国際高等専門学校校長〕……………	12
「しまね留学」全体の概要●尾糠 清司〔あさひ未来塾塾長〕……………	16
グローバル教育の最前線●久保 昌央〔駒込学園中学校 高等学校 国際部長〕……………	18
児童の言語生態研究●中川 節子〔元町田市立小川小学校教諭〕……………	20
塾なんでもん●水谷 敬……………	24
中学生 3 年生・展開と因数分解●大水 秀樹〔東星学園中学校高等学校〕……………	27
春降る雪は音もなく (16)●山崎しだれ……………	32
乱読毒舌独語 (21)「夢」と「睡眠」●国分 岳……………	36
真の教育を求めて (其の 3)●宇野 和秀〔一般社団法人 教育問題協議会理事〕……………	39
知られざる最強インテリジェンス 中野学校●石川 敦……………	42
組合活動記録……………	47
組合加入へのお誘い……………	48
組合加盟塾一覧 ……………	49
報告&執筆協力者・編集協力・編集後記	

●SSKスケジュール

2026.1.22(木)	理事会	レイブックホール(大宮)	10:30～12:00
1.30(金)	「教材教具・情報展」	ソニックシティ401・402	10:00～14:00
2.19(木)	理事会	レイブックホール(大宮)	10:30～12:00
3.19(木)	研修セミナー(議題調整中)	レイブックホール(大宮)	10:30～12:00

SSK（埼玉県私塾協同組合）公式ホームページより

「学校紹介動画」投稿のお願いです。

学校の教育実践・授業風景から職員紹介、施設案内や部活動風景など、様々な学校紹介動画をSSKホームページからも閲覧できるようにします。

多くの人に見てほしい大作、小作、力作動画をお寄せください。

以下の要領でお願いします。

①メールに動画のURLを入力し、戸田敦子宛に送信

ats001@mtg.biglobe.ne.jp

②「広告料」の類は発生しません。他社広告の割り込まない、元URL(学校HP上のアドレス等)をご指定ください。

③1校につき、最大10本まで。

④掲載場所：埼玉県私塾協同組合 (saikumi.net)

SSKホームページトップ・SSKロゴ下・【塾発Visual】バナー画面より入り、各校ロゴより提供ビデオ動画に直リンク。公開動画にアクセスします。

※公開紹介ビデオにつき委細ご理解くださいましてご提供くださいますようお願いいたします。

組合ならではの広告の入らない投稿公開総合Visualサイトにしたいと思っております。

ご理解ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。 三拝

SSK 埼玉県私塾協同組合 理事 SSK Report 編集長 本庄 雅一
理事 広報部長 戸田 敦子

「決意も新たに、一意専心で突き進もう！」

川邊 洋一（埼玉県私塾協同組合理事長）

謹んで新年のお慶びを申し上げます。旧年中は格別のご高配を賜り、誠にありがとうございました。本年も埼玉県私塾協同組合へ変わらぬご支援、ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

さて今年も輝かしい一年がスタートいたしました。また1年歳を重ねることになります。皆様の塾は創立何周年目になりますでしょうか。私事ですが当塾は昭和62年に創立いたしました。今年で39年目となります。

ところで昨年11月、駒込学院様の創立100周年記念祝賀会のお招きに預かる機会がございました。駒込学院様は1682年に了翁道覚によって設立された「勸学講院」がその始まりとのことで、1926年に駒込中学校が開校してから100周年を迎えられました。江戸時代からカウントいたしますと何と344年にもなります。「一隅を照らす」という教育理念を究められた結果、このような大業を成し遂げられたということに深い感銘と畏敬の念を感じる次第でございます。

創業100年以上の企業は世界で約4割を日本が占めていますが、長寿企業は事業環境の変化に対応しやすく、持続的な事業力を有しているともいわれています。また伝統（理念）と革新のバランスがとれていること、その理念がしっかり受け継がれていること、地域社会への貢献がなされていること、社員（講師）を尊重していることなどがあげられています。これを塾に落とし込んで見たときに、何を努力改善していかななくてはならないか理解できると思います。

「一年の計は元旦にあり」、気づいた時に、気軽に、喜んでさっと処理する。気づくと同時に行なう。これは成功の秘訣、健康の秘法であると初代倫理研究所理事長の丸山敏雄氏は説いています。しかし、気づいた時に同時に行動を起こすことは



簡単そうですが、余計なことを考えて同時に動くことができず、また気軽に行動を起こすことは意外と難しく、石橋を叩いて慎重になり過ぎ、笑い話のようですが、時に石橋を叩きすぎ、壊れて渡る機会を逸することもあります。さらに喜んで行えば良いのに、嫌々ながら行ったために良い結果を得られないこともあります。

やれない理由を考えるより、どうしたら成功するか考えることが重要だと思います。小さい塾でもよい、小さい塾だからできないのではなくて、逆に小さいから細部に手が届く指導ができるのであり、さらに極めつくし、真の働きにより世のため人のためにできることがたくさんあります。我々もあらためて一意専心、一隅を照らす塾になろうではありませんか。

結びに、丸山敏雄氏の言葉を引用して新年のご挨拶に代えさせていただきます。

あなたの仕事に、無上の希望をもちましょう。
あなたの体を、無限の希望でつつみましょう。
あなたの人生は、不断の希望の燈火でもえ立たせましょう。

太陽の焰、天日の輝き。
希望は、常に若々しい。
希望は、永遠の光である。



学校紹介 国際高等専門学校 (ICT) の誕生 (1/4)



はじめに

この度、埼玉県私塾協同組合広報誌『SSK Report』に国際高等専門学校 (ICT: International College of Technology, Kanazawa) を連載させていただくことになりました。この機会を与えていただいた埼玉県私塾協同組合の皆様には厚く御礼を申し上げます。



1年生、2年生が全寮制で過ごす白山麓キャンパス

金沢工業高等専門学校の歴史

さて、国際高等専門学校 (以降、ICTと略記) は 2018 年に開校した新しい高等専門学校です。前身は金沢工業高等専門学校 (KTC: Kanazawa Technical College) であり、創立は昭和 37 年 (1962 年) 4 月で、今年が創立 64 年となります。読者の皆様の中には高等専門学校 (高専) について詳しくご存じでない方も多いためです。一般に言われている高専をごく簡単に紹介しますと、通常の高専相当の 3 年間にプラス 2 年間の 5 年一貫教育であり、大学受験を意識することなく専門的な技術教育と一般教養を学びます。理工学系が中心であり、読者の皆様方にはロボットコンテスト (ロボコン) やプログラミングコンテスト (プロコン) などが良く知られた高専の一大イベントとしてあります。

なぜ国際高専なのか

日本全国には 58 校の高専があります。そのうち 51 校は国立で 3 校が公立、4 校の私立高専があります。ICT は 4 校ある私立高専の 1 つです。56 年間続いてきた KTC が名称を ICT に変更し、教育内容も大きく変更したのはなぜでしょうか？ 2018 年に ICT を開校した時からさらに十数年さかのぼりますが、ICT を運営する学校法人金沢工業大学 (KIT: Kanazawa Institute of Technology) の当時の法人本部長 (現学園長) の泉屋吉郎は「戦後の高度成長期において即戦力となる工学系技術者を輩出してきた高専はその役割は十分に果たしてきたが、現在の工学系技術の進展スピードやグローバル化を考えると、日本国内を視野にした技術者育成は限界があり、今後は世界で活躍できるグローバルイノベーターの育成に転換しなければならない」とした考えを公表し、授業は原則として英語でおこない、海外留学を必修とした全く新しい高等専門学校の設立を目指しました。

白山麓キャンパス、NZ、金沢キャンパス

この方針を具現化し、10 年余りかけた構想から 2018 年に開校したのが ICT なのです。1 年生、

2 年生は全寮制とし、日本三霊山の 1 つである白山に近い自然豊かな白山麓のキャンパスで過ごします。3 年生は全員が 1 年間ニュージーランドの国立オタゴポリテクニクにホームステイで留学します。詳細は第 3 回の記事でご紹介しますが、オタゴポリテクニクは英語能力を示すスコアである IELTS5.5 以上を要求しています。これまでのところオタゴポリテクニクの用意するカリキュラムを受講して帰国しています。現在は 3 年生 20 名が留学中です。

オタゴポリテクニク留学を終え、日本に帰国した学生は、4 年生と 5 年生の 2 年間で KIT のキャンパスと敷地を共有する金沢キャンパスで過ごします。KIT と同じ敷地にありますので、KIT の有する施設を利用することができます。連載最終回の 4 回目にご紹介するスクールシステムで詳しくご紹介しますが、高専の 4 年生、5 年生（大学の 1 年生、2 年生相当）が大学院博士課程や修士課程の学生とともに学ぶ仕組みも取り入れています。大学法人が運営する高専の強みがスクールシステムにあります。

ンパスと敷地を共有する金沢キャンパスで過ごします。KIT と同じ敷地にありますので、KIT の有する施設を利用することができます。連載最終回の 4 回目にご紹介するスクールシステムで詳しくご紹介しますが、高専の 4 年生、5 年生（大学の 1 年生、2 年生相当）が大学院博士課程や修士課程の学生とともに学ぶ仕組みも取り入れています。大学法人が運営する高専の強みがスクールシステムにあります。

「塾なんでもん」募集要項

編集部では「塾なんでもん」コーナーの原稿を募集します。学習塾を経営、生徒指導されている方対象。以下の要領でご執筆ください。

日々の生活や仕事などを通じて想うこと、していること（してきたこと）をなんでも自由気ままにお書きください。塾の仕事に関係しければならない、ということもありません。むしろ先生が意図していない形で、読者の心に響いてくる何かがあるはずです。

内容についての目安。

- ・塾運営で特に心を砕いて取り組んでいることを中心とした、塾紹介。
- ・生徒や保護者達とのやり取りを通じて殊に感慨を深めたこと、雑感。
- ・ご自身の教育理念や、分野にとらわれず思いを強くしていること、伝えたいこと。
- ・個人的に研究・調査していることの成果発表。
- ・小説・物語形式や、動画・絵画・書・写真等ビジュアルな形式、作曲等の記号形式での作品発表。（閲覧してほしいサイトがあれば URL や QR コードを添付）
- ・時事的な見聞、世相等に関してコメントしたいこと。
- ・個人的な経験や、趣味道楽等を通じて学んだこと、宝もの。等々

寄稿要件

- ①塾名ロゴ HP の QR コード等 執筆者名
- ②タイトル設定（例）「〇〇塾の教育方針」「社会に貢献できる人材の育成」
- ③文字数：1500 字程度（増減可）
- ④執筆者の顔写真・プロフィール＋掲載必要な写真、図版等（メール添付で）
- ⑤原稿送付先：本荘雅一宛てにワード添付で送信 honjo@gkdan.com
- ⑥原稿不切：随時。先着順で直近号に掲載。

夜の学習時間（ラーニングメンター）

話を全寮制で学ぶ白山麓キャンパス 1 年生、2 年生の学習に戻します。全寮制で最も良い点は、夜の時間も家庭に戻ることはなく、キャンパスの中に留まっていることです。この利点を生かして、ICT では午後 7 時半から午後 9 時半までを「夜の学習時間」とし、専任のラーニングメンター（4 名：いずれもが外国人教員）が学習についての予習・復習に加えて課外活動等に関する指導も行っています。「夜の学習時間」は日中に教室で行うような授業形式ではなく、ラーニングコモンズ、ライブラリーコモンズと呼んでいる広い開放的な空間と、複数ある少人数教室（10 名程度）で自由に学習できる環境を用意しています。

今後の紹介メニュー

このように、日本国内では唯一無二の国際高等専門学校について、次回から 3 回に分けてご紹介します。予定では第 2 回「グローバルイノベーター」、

第 3 回「一年間のニュージーランド留学と語学学習」そして第 4 回は「スクールシステムの構築」を予定しています。授業は英語で行われ、世界で活躍できる「グローバルイノベーター」を育成する ICT の特徴について、ご興味がありましたら本連載をぜひともご一読いただければ幸いです。



ICTホームページ

千代田中学校
千代田高等学校
CHIYODA JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

あなたと
「未来をつくる」
学校

2026
入試

申込方法の詳細は
WEBサイトにて！

CHIYODA x MIRAI

千代田中学校
千代田高等学校
CHIYODA JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

〒102-0081 東京都千代田区四番町11番 TEL:03-5530-7398

JR	市ヶ谷駅：徒歩7～8分	四ッ谷駅：徒歩7～8分
地下鉄	市ヶ谷駅：徒歩7～8分	四ッ谷駅：徒歩7～8分
	半蔵門駅：徒歩5分	麴町駅：徒歩5分



広域通信制・単位制・普通科
星槎国際高等学校 大宮キャンパス

星槎グループ
直営校

通学制の通信制高校 体験的な授業や行事がたくさん!

キャリアデザインプログラムで職業体験、芸術体験、人間形成体験(レク)!
3年間まるごと進路学習!仲間と体験しながらだから楽しく学べる♪
輝きゼミでスポーツや芸術、学習の力を伸ばそう!みんなにアンケートをとって
授業を開講。同じ趣味の人が集まるから友達ができる♪
部活もあるよ♪運動部、文化部、ホルダリング部、ビジュアル部、e-スポーツ部、他多数!



土曜日は体験入学へ♪

完全予約制

学校説明会 午前：10:00-11:00
午後：13:30-14:30
体験授業 午前：11:00-12:00
午後：14:30-15:30
※内容は本校HPをご覧ください。



個別相談 学校説明会后または体験授業後



2026 令和8年度 早期特別入試 II期
・一般入試 生徒募集概要

星槎国際高等学校大宮キャンパス
Tel.048-661-1881 Fax.048-661-1883
〒331-0802 さいたま市北区本郷町258-1
JR宇都宮線土呂駅下車西口より徒歩12分

星槎学園中等部(全日制)/星槎プラチナフリースクール(フレックス制)も開設しています!

大学附属のメリットを活かしつつ、

ゆとりの施設
で学ぶ♪



2026 中学校Web出願

大学附属
理数教育



2026 高等学校Web出願



東洋大学京北中学高等学校

〒112-8607 東京都文京区白山 2-36-5 TEL 03-3816-6211

都営三田線「白山駅」徒歩 6分

メトロ丸ノ内線「茗荷谷駅」徒歩 17分

メトロ南北線「本駒込駅」徒歩 10分

メトロ千代田線「千駄木駅」徒歩 19分

「しまね留学」全体の概要 (3/4)

尾糠 清司 (あさひ未来塾塾長)

・「しまね留学」スタートの背景

皆さんは「過疎」という言葉が、島根県から始まったのをご存じでしょうか？ 1960年代に島根県のある町長が国会で地域の状況を訴える際にこの言葉を使ったことが始まりだということです。それほど、島根県の過疎化、少子高齢化は以前から深刻だったのです。そのため当然、各学校の生徒数も激減し、小中高の統廃合が進んでおりました。地方の、特に離島中山間地の町は、学校が無くなってしまおうと若者を中心に一挙に人が減り、活気がなくなります。そこで生徒減に苦しむ島根県の各高校は生徒の全国募集を始めたのです。「しまね留学」参画校は県立高校ですが、それを愛し、支えているのは主に各市区町村の住民の方たちです。多くの住民がその学校の卒業生ですし、経済的にも、文化的にもその学校と密接に繋がっていますので。ですから、行政関係者だけでなく、地域の一般の住民も各学校に出入りすることが多いです。例えば、寮のスタッフ、総合等の授業での特別講師、公営塾の講師、県外生の親代わり、生徒たちとの交流イベントで、等等…。

このような事情で、生徒の全国募集が始まったのですが、きっかけは離島にある隠岐島前高校の取り組みでした。1999年には200名以上いた全校生徒数が2008年には89名まで減り、入学者が28名、文字通り島で唯一の学校であるこの学校の存続の危機を迎えていました。「このままでは



無人島になってしまう」本気になった町長と役場職員が東京から有能な若者を迎え入れ学校魅力化をスタートし、学校と町民とともに数年にわたる紆余曲折、波瀾万丈の経緯を経て、現在は全国そして海外からも生徒が集まる人気校になり、また様々な分野の視察が後を絶たない島、移住者が増え続ける島になりました。

この隠岐島前高校は「しまね留学」のシンボリックな存在になりましたが、他にも素晴らしい取り組み、魅力ある学校作りをし、生徒を集めている高校がたくさんあります。そして、県が強力にバックアップし、各校単独ではなく、全体として魅力化を推進していこうという取り組みが長年続いています。様々なイベントでもしまね留学エリアは「チーム島根」という空気感を感じられます。

・「しまね留学」制度の概要

- ①参画校：15校～20校程度。年によって変動します。
- ②近年の留學生数：全体で200名前後。募集数は各学校で異なります。

③エリア：出雲地方（東部）・石見地方（西部）・
隠岐地方（離島）

④地域の環境：町・農村・海・島



⑤コース：普通科・農業系・水産系・工業系・商業系・
情報系

⑥必要な費用：寮費¥40,000～¥50,000程度
(3食付き)・年数回自宅との往復の交通費
他は一般的な公立高校と同様

※地域により、様々な補助があります。

⑦2026年度入試日程：

特色選抜（推薦）2026年1月21日

一般選抜 2026年3月4日・5日

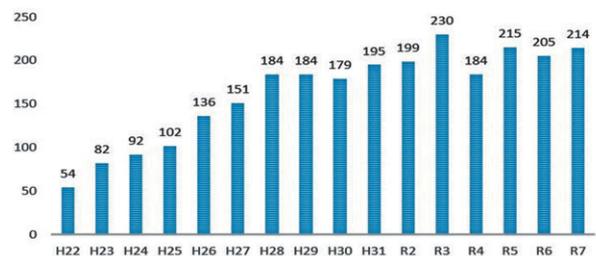
⑧進路の特徴：ほとんどの高校から、毎年のように
国公立大学に複数名が進学しています。もちろん
私立大学進学や就職も有り。

⑨学習面の特徴：探求学習は都会の学校に比べ、
ある意味進んでいると言えるかもしれません。
常に地域と関わり、地域の課題に触れ、多くの
大人が学校を支えているためです。人出不足により
「高校生が地域の大きな戦力」と捉えられている
ケースも多々見られます。

⑩施設の特徴：広大なグラウンドを有する学校が
多いです。

⑪特徴的な部活動：カヌー部・ホッケー部・スキー
部・ハンドボール部・水球部・女子野球部・地
域系（農業・神楽・地域探求）・ヨット部・レ
スリング部

県外中学校から入学した生徒数(人)



しまね留学 | 島根県版山村留学・自然の中で
少人数教育&充実の寮生活
shimane-ryugaku.jp

「労務関係のご相談は、私にお任せください！」

SSK顧問 社会保険労務士 高橋 裕

- ・業務内容 ① 雇用・人事に関する相談
② 労働保険・社会保険に関する相談
③ その他、労働関係諸法令、労働保険・社会保険関係諸法令に関する相談
- ・相談窓口 埼玉県私塾協同組合 本部事務局 坂田義勝
TEL: 049-224-7193 FAX: 049-224-3342
F-Mail sakata2451@nitfy.com

久保 昌央 (駒込学園中学校・高等学校 国際部長)

21 世紀後半の国際社会は、欧米中心の価値観だけでは理解しきれないほど複雑で、特にアジア太平洋地域は、経済、宗教、文化、価値観が縦横に交差する、人類史上まれに見るダイナミックな空間へと変貌しています。日本はこの環太平洋の一員として、近隣諸国との関係、地域の安定や平和的發展をどのように築いていくのかという課題に向き合う必要があります。

こうした時代背景の中で、駒込高等学校の海外研修は、単なる語学習得や観光的体験にとどまらず、アジア太平洋の多様性を肌で感じ、自文化を見つめ直しながら他者を理解する力を育てる、本校独自の国際教育として発展してきました。本校がアメリカやイギリスといった「伝統的英語圏」ではなく、ニュージーランド、オーストラリア、マレーシア、シンガポール、フィリピン、そしてハワイを研修先として選んできたのには明確な理由があります。それは、日本が歴史的にも地理的にも深い関わりを持ち続けてきたアジア太平洋地域にこそ、未来を読み解くための多様な価値観と、世界の課題が凝縮されているからです。本校では、世界を知ることと同時に、地域を知り、日本を知ることと国際教育の核として位置づけています。

また、本校では海外教育において、知識偏重・受験至上主義からの脱却という明確な教育理念を掲げています。大量の知識を詰め込み、正解のある問題にいかにも速く到達するかという思考様式だけでは、変化の激しい国際社会を生き抜く力にはなりません。一つの物事を複数の角度から捉える多元的思考こそが重要です。

こうした理念のもと、本校の海外研修は発達段階に応じて体系的に設計されています。中学部では、フィリピンとハワイを舞台とした短期海外研修を通して、初めて異文化に触れる生徒が「世界の広さ」と「文化の違い」を体感する機会をつくっています。続く高等部 2 年の海外修学旅行では、マレーシアとシンガポールを訪れ、宗教・文化・言語が複層的に共存する東南アジアのリアルな多文化社会を学びます。そして高等部では、ニュージーランドとオーストラリアへの 3 か月中期、あるいは 1 年間の長期留学という本格的なプログラムもあります。毎年 40 名前後の生徒が参加し、ニュージーランドとオーストラリアの現地高校に通い、ホームステイをしながら生活し、多文化社会の中で自己を磨いていきます。留学先では中国、韓国、タイなどアジア諸国から来た同世代の生徒と交流する機会が多く、一つの「アジア太平洋」という空間に驚くほど多様な文化が共存していることを実感します。異国の地で、他国のアジアの生徒と語り合い、価値観の違いを乗り越えて理解し合う経験は、自国中心の視点を超え、複数の価



値観を行き来しながら考える力を育てる貴重な学びとなります。ホームステイ生活は日々が新しい文化との出会いであり、食事の習慣、家族との関わり方、宗教観、時間の感覚、生活のルールなど、細やかな違いを積み重ねながら、生徒たちは自然と「自文化を相対化する力」を身につけていきます。また現地高校では、「自分が多数派ではない」という体験が生まれます。この「マイノリティの感覚」を知ることは、多文化共生の基礎であり、全人格教育において欠かせない経験です。人は少数者の立場に立って初めて、他者の痛みや不安に、より深く気づくことができます。

「忘己利他」(己を忘れて他を利するは慈悲の極みなり)。これは天台宗の開祖・伝教大師最澄の言葉であり、仏教校としての本校の建学精神です。自分の利益や損得を超え、他者の幸せのために尽くす姿こそが慈悲の究極の形であるという教えです。戦争や紛争が続く現代において、海外での学びを経験した生徒たちがどのように世界の課題へと視野を広げていくかは極めて重要です。「自国だけが平和であればよい」という「一国平和主義」は、立ち位置が変われば容易に反転し、過去の歴史が示すように、「一国軍国主義」へと姿を変えてしまう危うさを内包しています。仏教校としての「忘己利他」の精神を背景に、本校では知識の量そのものよりも、「他者を理解し、異なる価値観を尊重する力」を育てることを大切にしています。最終的には、人々の幸せを願い、苦しみに耳を傾け、その救済に向けて行動しようとする「慈悲の心」を備えた若者へと成長してほしいと願っております。

したがって、海外研修はこのような寛容で開かれた精神を育成する実践の場として大きな役割を果たしています。全人格的な成長を重視し、一面的ではない複眼的視点を育てることこそ、本校の国際教育の根幹です。その第一歩として、アジア太平洋地域での学びをファーストステップとして経験してほしいと考えております。

応援します。 受験生のみなさん。



埼玉県公立高校
〔定価1320円(税込)〕

埼玉県高校受験案内
〔定価2530円(税込)〕

高校過去問シリーズ
〔定価2200円～2750円(税込)〕

〔高校過去問シリーズ発行高校〕

■埼玉県内(40校)

秋草学園、浦和学院、浦和実業学園、浦和麗明、叡明、大宮開成、開智、春日部共栄、川越東、慶應義塾志木、国際学院、埼玉栄、埼玉平成、栄北、栄東、狭山ヶ丘、秀明、秀明英光、淑徳与野、城西大付属川越、正智深谷、昌平、城北埼玉、西武学園文理、西武台、聖霊学園、東京成徳大深谷、東京農大第三、獨協埼玉、花咲徳栄、東野、武南、星野、細田学園、本庄第一、本庄東、武蔵越生、山村学園、立教新座、早大本庄高等学院

■東京都内(約120校)

■群馬、栃木、茨城、千葉、神奈川他(約90校)

中学受験

中学過去問シリーズ

栄東中学校 (A・東大I)

3年間過去問

別冊解答用紙

〔定2200円～2970円(税込)〕

中学受験案内

栄東中学校

352校の入学希望者募集要項

〔定価2640円(税込)〕

ベスト10シリーズ

中学入試

国語読解

ベスト10

〔定価1100円(税込)〕

声教チャンネル

過去問出版社ならではのここにはない情報や、発行物の効果的な利用方法などをお伝えし、あらゆる角度から受験生を応援します。

声教チャンネル

児童の言語生態研究 アカンベ

1校時目 —人間生態の原点・音声言語の原点に立ち戻って—

中川 節子 (元町田市立小川小学校教諭)

「中川先生、電話電話。すごくお怒りです。1年の先生につて。」

その頃私が勤めていた小学校の副校長に、こう言って渡された電話でした。出ると「黄色い帽子の子どもたちが、横断歩道でもないところで、車の前をピュー通りすぎていき、本当に危機一髪だったので注意すると、逃げて行く時振り向きざまに何をしたと思いますか。」と言い、少しあって、「その時、あの子どもたち、アッカカンベをしたんですよ!」「アッカカンベですよ。」「危ないから、注意したのに、アッカカンベ。」と何度もアッカカンベを連呼する。私は重ね重ねと平身低頭。よくよく注意をするという事で、やっと許していただきました。子どもたちが無意識に行ったアッカカンベに対して、注意を聞いていないのみならず、逆襲された悔しさが、電話を掛けさせたのでしよう。この時不謹慎にも、私は子どもの中にアッカカンベが生きていることに嬉しくなりました。同時に、初めて行ったアッカカンベの授業を思い出しました。その授業を見ていた先生や、見ていなかった先生からも「これは国語の授業ではない」とお叱りを受け、二度と本会主催の研究授業はその学校ではできなくなった苦い思い出があります。

この「アッカカンベ」課題を児童の言語生態研究会の月例会で提案されたのは、この会の主宰者の玉川大学教授上原輝男先生でした。晩年の折口信夫に師事した関係もあり民俗学の中でも心意伝承(心の伝承)を研究していらっしゃいました。そこでこの提案だったのだと思います。「今、アッカカンベをやっている子どもはどれだけのもの?」と言われ注意深く子どもの言葉に耳を傾けてみましたが、アッカカンベはアンテナにかかってきませんでした。

先生の「アッカカンベは絶対に子ども達の中に残っているはずだ。」という考え方のもと、作成された授業の単元設定の理由の一部を示します。

本来の音声言語はその文字の介在しない部分の方に多く存在するのではないかと考える。言い換えると人間の気分が音声に託されているとするならば、その気分が文字化できる部分というのは全く小さな範囲で、後の文字化できないところで、人間の生活の大半が行われていると言える。



特にまだ文字を知らない幼い子は本当に気分ではしゃべり、それらしい顔つきもし、結構大人の話の仲間入りをする。この種の言葉にアッカカンベがある。

1年生のどの子どもも一度はアッカカンベをしているはずである。そしてその時、アッカカンベの定義はできなくても、そのアッカカンベを使う所は心得ているし、その雰囲気も知っているように思う。それは一体どうしてなのだろう。アッカカンベには言葉としての概念がない。だから子どもたちは、その音と姿態の照合を楽しんでいるのではないか。どこまでも直接反応として、相手に通じてまた互いに関係しあうことができるのだから、これが面白くないはずもない。これが本当の生の心象表現という事になろう。人間の思考の基盤は、知識の知恵でなく、感覚の知恵であると思う。そしてこの感覚の知恵が十分に発達することを基盤にして概念思考に移るべきではなかったか。子どもたちが与える知識や概念などと全く無関係に、何を意識し、何を区別していくか、また何が発達していると言えるか。これを場面ごとに設定して、その教師にとっても、子どもにとって確認の授業をしたいのである。

○子ども達に考えられるアッカカンベ (㊦㊧は本時に使用)

㊦ 居直り すねる 意地悪されたとき 強—弱 関係

A お前なんか入れてあげないよ B お前なんかあっち行けよ C アッカカンベ

㊧ 拒否 自分が意地悪する 優—劣 関係

A これ何だかしってる? B 知ってるさ

A 知ってるなら教えて B アッカカンベ

この他に ㊶呼びかけ・からかい ㊷はぐらかし ㊸逃避

以上です。これらを念頭に入れての授業です。

子どもたちの様子

・今日の給食はカレー、4時間目の算数の時間
「ぼく、いま何にも考えられない。だって、ニンニクのおいが頭にガンガンきて。」

・<この落とし物のハンカチ誰のですか？>

わかるかもしれないと H 君がつつかつと出てくる。ハンカチをクンクン嗅いで、

H「ああ、これ A 君のだ。」

A「あ、僕のだ。」

子ども達のスナップです。この子たちは1年生の特徴とも考えられる知的というよりは感覚で生きている感じです。このような素直な感覚の残っている子どもたちなので、素の感覚がどれくらい出てきて、アカンベーの確認ができるか、ワクワクドキドキしながら、アカンベーの授業に取り組みました。

アカンベーの授業

1978年9月29日 町田市立成瀬台小学校
1年4組男子23名女子19名計42名 小泉（中川）学級

ねらいは、アカンベーの確認をする（音声・表情・姿態からその人間関係の把握）です。

以下授業の流れをまとめました。

1. アカンベーの絵を描きました。（全員描けました。）
2. 絵を OHP に写し、絵に描いたようにアカンベーをしました。（大爆笑）違いを語ってもらいました。
（目や口・ベロに気づく）
3. 絵から離れ自分のアカンベーをしてそれをポラロイドカメラでとったものをみんなで OHP に映してみました。次々、いろいろな人のアカンベーを見て、違いを探しました。（片目、両目、舌を出す、出さない）どんな気持ちでやったのかと聞いても、そちらの返答はありませんでした。
4. ここからはアカンベーの演習編です。
・漫画1 強弱関係 ㊶居直り・すねる を使います。
1 枚目・みんなでセリフをいい、そのあとに言葉を言います。
（お前なんか入れてあげないよ・お前なんかあっち行けよ）
（アカンベー、アカンベー、アッカンベー）

2 枚目 木の陰から、意地悪をした子にアカンベーをしている絵を見ます。

（泣きながらアカンベーしているの・さっき Y ちゃんやったのに似ている・N さんだけ、片足になっている。・なんで片足かという、お化けみたいにして思ったの・）

・漫画2 優劣関係 ㊷拒否 を使います。

（これなんだかしってる？・しってるさ・しってるならおしえて）とセリフを読み、言葉を言います。

（大きな声で、アカンベー、アッカンベー、こわい、力強くやっている）

5. 次回はアカンベーの違いを勉強することを話して、授業を終了しました。

お母さん方の感想

「何？この授業」と思いながらも、「私は居直りのアカンベーしか思いつきませんでした。」「アカンベーは目をこう下げるものだと思ったら、上にあげるのもあるんですね。」アカンベーと一緒に考えて、ご自分も授業に子どもとともに参加しながら、見てくださった方もいました。アカンベーにまつわるお子さんの色々なこと、特にそれに関連付けた「はぐらかす」「いじわる」「居直る」「すねる」等についてお話しいただいたのは貴重な資料になりました。しかし、あまりこの授業に参加できずにいたお子さんのお母さんは納得できていなかったようです。「親に対してすねたりそういう言葉は出てきますけれど、アカンベーという言葉自体がわかってないようで、（略）もっと違った言葉が、意識しないでみんなの前でぱっと出るような言葉を取り上げてもらいたかった。」

この発言に対して、上原先生は「それがアカンベーなんです。アカンベーは言葉以前の言葉なんですよ。今日前に出てきて音声が付いた子どもとつかない子どもがおりますでしょ。でもわかっているんですよ。アカンベーというとき何も言わない場合でも、あの人はアカンベーをしたっていうでしょ。」

授業を終えて（収穫と意義）

アカンベーの授業からたくさん収穫をいただきました。子ども達の反応のまとめです。

- アカンベー、の絵は全員かけました。
- アカンベーで笑った子がたくさんいました。
- アカンベーで笑った子が前に出てきてアカンベーをやってくれました。
- アカンベーを恥ずかしがっていた子もアカンベー、をやってくれました。

私塾協同組合連合会「全国研修大会」参加御礼

私塾協同組合連合会 理事長 坂田 義勝

昨年 12 月 7 日（日）に開催いたしました「私塾協同組合連合会 / 全国研修大会」へは多くの方々のご参加を賜り、心より御礼申し上げます。また、師走の多忙の中時間を調整いただいたのご臨席、重ね重ね感謝申し上げます。

研修大会冒頭でご説明致しました通り、ここ十数年「全国研修大会」は、各都県の負担を軽減すべく隔年の開催と致しております。2023 年は、東京私塾協同組合が主幹となり、渋谷にて盛会裏に終えることができました。

現在、私塾協同組合連合会は、東京・神奈川・埼玉を中心として各団体の事業報告や新たな取り組みについて情報交換を重ねながら連合会としての共同事業を起こすべく鋭意努力しています。連合会のホームページ「学習塾ネットワーク」では、親御様や子供たちの「学校選び・塾選び」のポータルサイトとして最新情報を更新アップし、リアルタイムで対応しております。協賛をいただいています各私学様・企業様へは、この場を借りて御礼申し上げます。

私塾協同組合連合会は、かつては和歌山・愛知・静岡・神奈川・東京・千葉・神奈川・埼玉・茨城・群馬を構成員として活動を続けておりましたが、時代の流れとともに、不本意ながら会員数を減らすに至りました。しかし、かつて理事長を務められた先生方とは、現在も交流を続け親交を温めています。今回、茨城の元理事長：布浦万代先生、静岡の元理事長：長沼滋先生も応援に駆けつけてくださいました。群馬の元理事長：野口眞光先生も出席予定でしたが、直前の発熱で欠席されました。和歌山の元理事長：田原サヨ子先生は、残念ながら当日の先約で参加は叶いませんでしたが、電話での会話は頻繁に交わっています。愛知の山本チヨエ先生、山田真司先生にも多方面で応援をいただいております。



私は、昨年 5 月の総会で「埼玉県私塾協同組合」の理事長職を降り、巻頭言のご挨拶にありますように、川邊洋一先生にバトンタッチを致しました。ちょうど 20 年の節目になりましたが、振り返りますと私の周りの方々に力強く支えられ、ご協力をいただいたからこそ成したものだとは強く感じる次第です。また、私学の先生方、各団体の先生方、教材・出版関係の方々、関係各位の皆様方にも力強い賛同をいただいたことに深く感謝申し上げます。私塾協同組合連合会は、今後も理事長として活動を続け鋭意努力して参りますので、何卒ご指導・ご鞭撻の程、宜しく願い申し上げます。

私の個人的な話になりますが、今年（2026 年）で塾創立 48 年になります。5 月の誕生日が来れば、77 歳（喜寿）を迎えます。現在も老体に鞭うって、小・中・高と教壇に立ち続けています。おそらく 80 歳を過ぎても頑張り続けているでしょう。たまに生徒が「先生、いつまで塾をやるの？」と真面目に聞いてきます。その時答える言葉が「君たちが結婚して、子供が生まれましたと先生に報告に来るまでやってるよ！」また、「結婚したのですが、離婚しましたと報告に来るまでやってるよ！」と笑いを誘うこともあります。みんなの元気な顔を見るのは楽しいですね。

末筆で恐縮ですが、本年が皆様にとりました健康で幸多き年となりますことをご祈念申し上げます。

- アカンペーを一人だけ片足で力を込めてできた子がいました。(気持ちが入っていたのでしょうか)
- 居直りのアカンペーはアッカンペーッと大きな声で言えました。
- それに対して「こわい」という気持ちもつけてくれました。
- 声をつけてもつけなくてもアカンペーという事がわかっていました。
- アカンペーは、本当にたくさんのアッカンペーがありました。(片目・両目・舌の出し方・赤目の出し方・上か下か・両足・片足等々)
- アカンペーを「お化けみたい」という子がいました。
- アカンペーをして楽しかったという子が大勢いました。

「アカンペーは言語以前の言葉なんですよ。きょう前に出てきて音声が付いた子どもとつかない子どもがおりますでしょ。でもわかっているんですよ。アカンペーというとき何も言わない場合でも、あの人はアカンペーをしたっていうでしょ。」上原先生の言葉です。アカンペーは子どもたちの感覚の中に存在する言葉なんです。言い換えれば、子どもの持っている別の世界といえます。アカンペーはやろうと思って発する言葉ではありません。その時一瞬何かを転換する、弱者が強者に不意打ちをくらわすこともできます。子ども達から出たことばの中に「お化けみたい」という言葉が

ありました。この世のものでない世界が垣間見られる、自分の中にある違う世界が出る瞬間なのかもしれません。だから赤目を出し、舌を出すのです。

先日、20年ぶりに教え子から赤ちゃんが生まれたので会ってほしいという連絡がありました。すぐに顔を見に行きました。お乳を飲んだ後のげっぷをするときのがんばる変な顔がいとおいしいとほっぺをつついていました。変な顔から、アカンペーの話になりました。小川小での授業を覚えていると言いき、その時のアカンペーの写真と感想の載っている文集を持ってきてくれました。「何かアカンペーをすると変な顔になって、自分じゃないみたいで楽しかった。」と話をしてくれました。「自分の中のもう一人の自分が表れるそんな体験をしたような気がする」とも語ってくれました。これこそが、アカンペーの意義だったのだと思いました。わあわあという喧騒の中でアカンペーを楽しそうにやっていたあの時、それぞれの子どもたちの中にアカンペーが生きていることの確認ができたと今では確信しています。

プロフィール

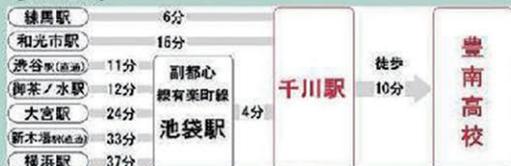
- ・1997年(H8) 同じテーマで「国語の授業はこうする」Ⅱに掲載
- ・2006年(H18) 「コミュニケーションの原点を探る＝言語以前の行動伝承」ーアカンペーを使ってーというテーマで(「児童の言語生態研究18号に掲載」)

発見。新しいジブン

豊南高等学校 2026年度入試 学校説明会日程 ※費予約

【学校説明会】	【個別相談会】
10月4日(土) 14:00~15:10	11月2日(日) 9:30~13:30
10月18日(土) 14:00~15:10	11月16日(日) 9:30~16:30
10月26日(日) 10:00~11:10	11月24日(月祝) 9:30~16:30
11月8日(土) 14:00~15:10	11月30日(日) 9:30~16:30
11月22日(土) 14:00~15:10	12月7日(日) 9:30~16:30
11月29日(土) 14:00~15:10	
説明会終了後、個別相談を行います。 ご希望の方はWEBでお申し込みください。	【オープンキャンパス】 8月30日(土) 9:00~

【アクセス】

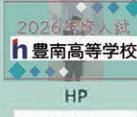


豊南高等学校

【所在地】東京都豊島区高松3-6-7
【TEL】03-3959-5511



豊南高等学校
ネット出願



HP



Instagram



OPEN CAMPUS 2025



2026

昌平高等学校ネット出願

2026

昌平中学校
ネット出願

高等学校説明会

予約制

第1回	7月5日(土)	9:30~
第2回	8月2日(土)	9:30~
第3回	8月23日(土)	9:30~
第4回	9月14日(日)	9:30~
第5回	10月13日(祝月)	9:30~
第6回	11月16日(日)	9:30~
第7回	12月14日(日)	9:30~

中学校説明会

予約制

第2回説明会	5月31日(土)	10:00
第3回説明会	6月21日(土)	10:00
第4回説明会 / IBサイエンス体験	7月19日(土)	9:00
第5回説明会 / 腕だめしテスト①	8月30日(金)	9:00
第6回説明会	9月20日(土)	10:00
第7回説明会 / 腕だめしテスト②	10月12日(日)	9:00
第8回説明会	11月8日(土)	10:00
第9回説明会 / 入試直前対策講座	12月13日(土)	10:00

大学合格実績 (令和7年3月26日現在)

- ◆東京大学5名合格 文Ⅲ(2)理Ⅱ(3)
- ◆京都大学工学部 1名合格
- ◆医学部医学科 9名合格

◆国公立大学(81名)

[その他多数合格]

東京大	5	京都大	1	東京科学大	2
北海道大	2	東北大	4	名古屋大	2
東京外国語大	3	横浜国立大	5	筑波大	4
千葉大	1	東京都立大	3	東京学芸大	2
岡山大	1	金沢大	1	埼玉大	7
群馬大	1	熊本大	1	信州大	2
宇都宮大	11	秋田大	3	埼玉県立大	2

◆早慶上理 98名 G-MARCH 193名 成成獨國武 66名

早稲田大	30	学習院大	17	成蹊大	9
慶應義塾大	14	明治大	37	成城大	2
上智大	14	青山学院大	21	獨協大	23
東京理科大	40	立教大	44	國學院大	10
		中央大	29	武蔵大	22
		法政大	45		

[その他私大564名合格]

◆医学部医学科(国公立6名)

熊本大	1	新潟大	1	北里大	1	帝京大	1
群馬大	1	秋田大	1	日本大	1	防衛医大	2

◆薬学部(37名)

東京理科大	2	星薬科大	1
-------	---	------	---

[その他多数合格]

部活動の実績 (近年)

- ◆サッカー部(男子)
 - 全国高校サッカー選手権埼玉大会 優勝 全国ベスト8
 - 全国高等学校総合体育大会 全国優勝
- ◆野球部
 - 埼玉県高校野球秋季大会 初優勝 関東大会出場
- ◆陸上競技部(男子)
 - 全国高等学校総合体育大会 出場
 - 全国高等学校陸上競技選抜大会 出場
- ◆陸上競技部(女子)
 - 全国高等学校総合体育大会 出場
 - 全国高校駅伝競争大会 出場
- ◆ソフトテニス部(男女)
 - 全国高等学校総合体育大会 出場・関東大会 出場
- ◆硬式テニス部(男子)
 - 全国高等学校総合体育大会 出場・関東大会 出場
- ◆バスケットボール部(女子)
 - 全国高等学校選手権大会(ウインターカップ) 出場
- ◆ラグビー部
 - 全国高校ラグビー大会埼玉県予選 優勝 全国大会 出場
 - 関東高校ラグビー大会 出場
- ◆バレーボール部(男子)
 - 関東高校バレーボール大会 出場
 - 全日本バレーボール高校選手権大会 県大会 優勝 全国ベスト16
- ◆チアリーディング部(女子)
 - 全国高校ダンスドリル冬季大会 第3位
 - 全国ダンスドリル選手権大会4位入賞
- ◆パソコン部
 - 全国パソコン技能競技大会出場
- ◆書道部
 - 全国高等学校総合文化祭 出展



〒345-0044 埼玉県北葛飾郡杉戸町下野851 TEL:0480-34-3381 FAX:0480-34-9854
<https://www.shohei.sugito.saitama.jp/contents/hs>

【推奨】Web申込

※説明会の約一か月前より申し込みを開始します。

次のQRコードまたはURLから本校ホームページの専用申込フォームにアクセスしてお申込みください。

※インターネット環境がない場合は電話にてご連絡ください。(平日9:00-16:00)



水谷 敬

私が教室長を務める SE アカデミーでは、毎年 5 名前後の高校 3 年生が、2 月に行われる「一般受験」という険しい山に挑むべく、日々学習に励んでいる。世の中の流れを見れば、推薦入試や総合型選抜で年内に進路を決める生徒が増えているのが現実だ。そんな中、なぜ彼らは、あえてこの苦しい道を選び、夜遅くまで机に向かうのか。そう問われたとき、私の答えは明確ではないかもしれない。しかし、彼ら自身の目には、明確な「理想のキャンパスライフ」が映っており、そこへ向かって脇目も振らず直進していることだけは確かだ。その姿を見るにつけ、私は彼らの選択が間違いではないと確信するのである。

昨今、大学受験を取り巻く環境は大きく変化した。私は、世間一般がこの変化に対して、ある種の「大きな勘違い」をしているように思えてならない。その代表例が「大学入試 60%は年内入試で決まる」という言説だ。確かに、数字だけを見れば、大学入学者の 60%超が推薦などの年内入試で決まっているのは事実である。しかし、数字の裏側を見落としてはいけない。難関大学や人気大学に限れば、依然として一般入試での入学者が 60%を超えるケースも多いのだ。一方で、定員確保のために入学者の 90%近くを年内入試で確保する大学も存在する。つまり、一概に「今は推薦の時代だ」と括ることは危険であり、大学の二極化が進んでいる現実を直視すべきなのである。

誤解のないように言えば、私は年内入試そのものを否定しているわけではない。ただ、安易な選



択には警鐘を鳴らしたい。それは、私自身の高校時代の苦い経験が根底にあるからだ。私は中学時代、バドミントンのスポーツ推薦で大学付属高校に入学した。その高校は、毎年約 30%の生徒が内部進学をする学校だった。高校 1 年生の頃、クラスメイトたちは「大学は MARCH や日東駒専くらいには行きたいよね」と高い目標を口にしていたものだ。しかし、時が流れ、受験学年である高校 3 年生の秋になると、彼らの多くは「楽に決まるなら」と内部進学を選び、早々に受験生活を終えて喜んでいた。それから月日が流れ、私たちは社会人になった。同窓会でかつてのクラスメイトたちに再会すると、酒杯を交わす中で数名がこう漏らした。「あの時、一般入試で他大学を受けておけばよかった」と。当時、私は予備校で国公立医学部クラスを担当し、厳しい受験戦争の最前線にいた。後悔を口にする彼らに、私は思わずこう思った。「今からでも、大学受験をやればいいじゃないか」。だからこそ、教育業界に身を置く私は、毎年塾生たちにこう伝え続けている。「自分が心から誇れる学校に行こう。後悔しない選択をしよう」と。

私の大学受験指導の軸は、「後悔しない大学受

験」と「やり切った大学受験」の二つに集約される。当塾での大学受験指導は、高校生からではなく、実は中学2年生の秋頃から始まっている。この時期に、私は中学生の進路希望やキャリアプランを丁寧に聞き取り、彼らのキャリア形成を手伝い始める。大学進学を視野に入れている塾生には、同じ教室で必死に学習している高校3年生の姿を見せながら、一般受験のハードルの高さを包み隠さず伝える。「受験は登山と同じだ。最初は遠くにある低い山に見えるかもしれない。しかし、近づけばそれが険しく高い山だと気づく。それでも、もし君が最初からその高い山を目標にしているのなら、途中の低い山で満足してはいけない。頂上まで登り詰めなければ意味がないのだ」と、ストレートに話すこともある。あるいは逆に、少子化で倍率が緩和されている現状を踏まえ、「今は子供の数が減って、昔よりもチャンスがある。だからこそチャレンジしたほうがいい。挑戦せずに諦めるほうが、後々絶対に後悔するから」と背中を押すこともある。いずれにせよ、生徒自身の心に火をつけることが、私の指導の第一歩である。

塾生が高校に進学するタイミングでは、改めて進路ガイダンスを実施する。ここでは、大学入試の現状や入試方式別の入学者数といったデータの話から、「年内入試」と「一般入試」の性質の違い、「指定校推薦と高校生活のバランス」など、より具体的な戦略の話を進める。その際、私は首都圏の路線図を広げ、4年間のキャンパスライフを過ごす場所を具体的にイメージさせる。毎年のことだが、塾生のほとんどは華やかな都区内でのキャンパスライフを思い描く。現実として、都区内にキャンパスを置く大学は人気があり、入試レ

ベルも高いのが事実だ。しかし、このガイダンスの真の目的は、偏差値の話をするのではない。大学受験に対する「覚悟」と「決断」を促し、高校生活を充実させながらも、常に進学に対する高い意識を持たせることにある。

では、実際の指導はどう行っているのか。今の中学生たちに言わせれば、私のやり方は「理不尽」そのものかもしれない。しかし、この一見理不尽な指導こそが、大学受験を戦い抜く強靱な土台となる。その核となるのが、「上りテスト」という仕組みだ。中学1・2年生には、英語の「不規則変化動詞表 80」の暗記を課している。毎年12月から翌年5月の大型連休前まで、毎週1回、指定範囲のテストを行うのだが、ルールは単純明快。「満点のみ合格」。1問でも間違えれば不合格となり、再テストとなる。いわゆる「合格するまでは家に帰れない」という昔ながらのシステムだ。この「上りテスト」の目的は、単なる知識の定着ではない。「当たり前」の基準レベルを上げる」と、そして「満点にこだわる執念を養う」ことが最大の狙いである。開始当初は、一回でクリアできずに苦しみ、再テストを繰り返す塾生が多い。しかし、数回テストを重ねると、彼らは学習のコツを掴み、一回でクリアすることが「必然」になってくる。そして、テストをクリアした時の彼らの表情を見てほしい。ほとんどの塾生が、満面の笑みで帰路につくのだ。これは、長時間拘束されるストレスから解放された喜びだけではない。厳しい課題を自力でクリアしたという「自己承認」の喜びである。約半年間続くこのテストを通じて、彼らは小さな成功体験と自己承認を繰り返し、無意識のうちに「自己肯定感」を高めているのだと、

ここ数年の現場指導で痛感している中学3年生になれば、夏期講習から入試直前まで、英語の整序作文や数学の一行計算などで同様の「上りテスト」を行う。入試までに各教科1000問近い問題に取り組むわけだが、日々のテストで「満点以外は認めない」という環境に身を置くことで、彼らの集中力は飛躍的に向上する。この「理不尽」とも思える徹底的な基礎訓練が、大学受験という大きな壁を乗り越えるためのエンジンとなるのである。

高校に入学すると、1年次は定期テスト重視の指導を行うが、2学期以降は「一般組」と「推薦組」にコースを分け、指導方法を明確に変更する。「一般組」は、高校2年生の4月から本格的な受験モードに入り、各科目の基礎知識を問う「上りテスト」が再開される。一方、「推薦組」は学校の評定平均を最大化するため、学校の勉強を中心に指導を行う。各学年の3月には再度ガイダンスを行い、この時期になると生徒個人がオープンキャンパスに参加し、自分の将来像を具現化し始める。ここまで来れば、塾側から手取り足取りアドバイスすることは少なくなる。塾生自身が自分の目標に向かって自走し始めるからだ。私たち塾側の役割は、テストの作成や採点、そして進路相談という後方支援に徹することになる。高校3年生になれば、受験に関わる全科目を週1回の確認テストでチェックし、管理面談などで学習進捗を細かく修正する。ただし、高校生のテスト合格ラインは、中学生の満点主義とは異なり「80%」に設定している。とはいえ、これに合格しなければ次の単元には進ませないという厳格さは変わらない。これが、SEアカデミーの指導方針の全容である。

現在の大学受験は、30年前とは様変わりした。

「浪人してでも難関大学へ」という根性論が通じる時代ではないことは理解している。しかし、「楽をして決めたい」「早く進路を確定させて安心したい」といった安易な理由で進学し、結果として大学に通わなくなってしまう学生がいるのも、また悲しい事実である。正直なところ、総合型選抜や学校推薦型選抜などで、定員の80%以上を確保している大学も多くある。大学経営の視点で見れば、この「青田買い」は合理的かもしれない。しかし、学生を受け入れる側として、もう少し慎重になるべきではないかと感じることもある。大学とは本来、明確な目的を持って学びに行く場所であり、4年間の身分を保障してくれるだけの場所ではない。学問を修めるためには、ある程度の基礎学力と論理的思考力が不可欠だからだ。

私は塾生たちにこう伝えている。「今は、受験生である君たちが学校を選ぶ権利を持っている。だからこそ、このチャンスを最大限に活かしてほしい」と。少子化が止まらない日本において、今後、大学の閉鎖や統合は避けられない現実となるだろう。自分が卒業した母校が、自身が子育てをする頃にはなくなっているかもしれない。そんな時代だからこそ、大学選びは慎重であってほしい。かつて大手予備校で私立大学文系コースの担任をしていた頃、150名の学生を前にしたガイダンスで、私が最初に放った言葉がある。「20年後にも、世の中に必要とされ、存続している大学に行こうね」。この言葉は、決して色褪せることはない。私がこの教育業界で仕事を続ける限り、そして生徒たちの未来を思う限り、私はこの言葉を発し続けるだろう。後悔のない人生を、自分自身の足で歩んでもらうために。

中学生3年生・展開と因数分解

大水 秀樹（東星学園中学校高等学校）

今回は展開と因数分解のスピードを深める教材の紹介です。因数分解の学習方法の一つに以前本誌の第160号「タイルでできる因数分解」で紹介いたしましたが、今回は暗算で素早く答えを出す訓練の教材となります。「こんなのがあればいいな」を形にしました。

実際には展開と因数分解は正反対の関係にあるのですからその性質を利用して単語カードを使ってみた実践になります。この方法は先生であれば誰でも気が付いているのではないかと思います。実際作るとなると面倒ではないかと思います。以下にそのサンプルを載せておきますので印刷・調節していただいて活用してください。表裏一体で答えと問題になっております。

では授業展開例です。事前に1つ作成してみましよう。私の場合は用紙はニューカラーを使用します。色もランダムに用意しておいて見せると「オレ何色が欲しい！」などと始まります。見せた際に反応がなければ何色がいい？と聞いてみます。

全員にはさみを持参させましよう。道具はこれだけでオーケーです。あとは点線に沿って切ってもらって一穴パンチで穴をあけていきます。これは100円均一でも売っておりますので、数個用意しておけばよいでしょう。いきなり生徒にさせると失敗することがありますので、サンプルの練習が必要になります。先生も一度作ってみて印刷の穴の位置とパンチの位置があっているかどうか、またパンチする際のコツを習得しておくといよいと思います。

用紙を配布した際に、リングも配布しましよう。こちらも100均で販売しておりますので何色か用意して余分に購入し、余ったものは来年度に回すなどして生徒の好みの傾向などもわかっていきます。

出来上がったカードに名前を書かせ、カードをめくって暗算で答えを出していくという使い方を教えます。「これのテストやるよ」と言っておけば効果あるでしょう。1枚当たり暗算の目標は2～3秒と設定し、一斉に計って取り組ませるのもよいと思います。私の場合、毎回持参させ授業の最初に数分間させました。メトロノームでカチカチしながらめくるのも面白いと思います。

展開カード 氏名	$x(x+2y)$	$x(x+3)$
$2x(xy-2)$	$5x(x-2y)$	$xy(x-y)$
$(x+1)(x+2)$	$(x+2)(x+3)$	$(x+3)(x+4)$
$(x+4)(x+5)$	$(x+1)(x+3)$	$(x+1)(x+5)$
$(x+2)(x+4)$	$(x+2)(x+6)$	$(x-1)(x-3)$
$(x-2)(x-4)$	$(x-2)(x-6)$	$(x-3)(x-4)$
$(x-1)(x-8)$	$(x-4)(x-6)$	$(x-2)(x-5)$
$(x-5)(x-7)$	$(x-3)(x+4)$	$(x-2)(x+4)$
$(x-1)(x+5)$	$(x-5)(x+3)$	$(x-5)(x+1)$
$(x-4)(x+2)$	$(x-7)(x+2)$	$(x-9)(x+4)$
$(x-6)(x+2)$	$(x-10)(x+3)$	$(x+9)(x-3)$
$(x+9)(x-4)$	$(x+7)(x-2)$	$(x+6)(x-1)$

$(x+10y)(x-5y)$	$(x-y)(x+10y)$	$(x-2y)(x+9y)$
$(x+3y)(x+9y)$	$(x+4y)(x+9y)$	$(x+5y)(x-9y)$
$(x+5y)(x+9y)$	$(x+2y)(x+9y)$	$(x+2y)(x+8y)$
$(x+3y)(x+8y)$	$(x+3y)(x+10y)$	$(x-y)(x-10y)$
$(x-2y)(x+10y)$	$(x-3y)(x+8y)$	$(x-5y)(x-8y)$
$(x+1)^2$	$(x-2)^2$	$(x+3)^2$
$(x+4)^2$	$(x-5)^2$	$(2x+1)^2$
$(2x-1)^2$	$(x+y)^2$	$(x-2y)^2$
$(x-4y)^2$	$(3x+1)^2$	$(3x+2y)^2$
$(x+2)(x-2)$	$(x-6)(x+6)$	$(5+x)(5-x)$
$(2x+y)(2x-y)$	$(3x+2y)(3x-2y)$	$(x+4y)(x-4y)$
$\left(\frac{x}{2} + \frac{y}{3}\right)\left(\frac{x}{2} - \frac{y}{3}\right)$	$\left(\frac{3}{2} + x\right)\left(\frac{3}{2} - x\right)$	

$x^2 + 3x$	$x^2 + 2xy$	
$x^2y - xy^2$	$5x^2 - 10xy$	$2x^2y - 4x$
$x^2 + 7x + 12$	$x^2 + 5x + 6$	$x^2 + 3x + 2$
$x^2 + 6x + 5$	$x^2 + 4x + 3$	$x^2 + 9x + 20$
$x^2 - 4x + 3$	$x^2 + 8x + 12$	$x^2 + 6x + 8$
$x^2 - 7x + 12$	$x^2 - 8x + 12$	$x^2 - 6x + 8$
$x^2 - 7x + 10$	$x^2 - 10x + 24$	$x^2 - 9x + 8$
$x^2 + 2x - 8$	$x^2 + x - 12$	$x^2 - 12x + 35$
$x^2 - 4x - 5$	$x^2 - 2x - 15$	$x^2 + 4x - 5$
$x^2 - 5x - 36$	$x^2 - 5x - 14$	$x^2 - 2x - 8$
$x^2 + 6x - 27$	$x^2 - 7x - 30$	$x^2 - 4x - 12$
$x^2 + 5x - 6$	$x^2 + 5x - 14$	$x^2 + 5x - 36$

$x^2 + 7xy - 18y^2$	$x^2 + 9xy - 10y^2$	$x^2 + 5xy - 50y^2$
$x^2 - 4xy - 45y^2$	$x^2 + 13xy + 36y^2$	$x^2 + 12xy + 27y^2$
$x^2 + 10xy + 16y^2$	$x^2 + 11xy + 18y^2$	$x^2 + 14xy + 45y^2$
$x^2 - 11xy + 10y^2$	$x^2 + 13xy + 30y^2$	$x^2 + 11xy + 24y^2$
$x^2 - 13xy + 40y^2$	$x^2 + 5xy - 24y^2$	$x^2 + 8xy - 20y^2$
$x^2 + 6x + 9$	$x^2 - 4x + 4$	$x^2 + 2x + 1$
$4x^2 + 4x + 1$	$x^2 - 10x + 25$	$x^2 + 8x + 16$
$x^2 - 4xy + 4y^2$	$x^2 + 2xy + y^2$	$4x^2 - 4x + 1$
$9x^2 + 12xy + 4y^2$	$9x^2 + 6x + 1$	$x^2 - 8xy + 16y^2$
$25 - x^2$	$x^2 - 36$	$x^2 - 4$
$x^2 - 16y^2$	$9x^2 - 4y^2$	$4x^2 - y^2$
因数分解カード	$\frac{9}{4} - x^2$	$\frac{x^2}{4} - \frac{y^2}{9}$

私塾協同組合連合会「全国研修大会」



第1部 開会の挨拶
連合会理事長 坂田義勝



第1部 来賓のご挨拶
AJC 理事長 森貞孝様



第1部 来賓のご挨拶
駒込中学校・高等学校 校長 河合孝允様



第1部 講演 PS. コンサルティングシステム
小林弘典様



第1部 講演会場



第2部 挨拶 私塾協同組合連合会の各都県理事紹介



第2部 挨拶 主幹
埼玉県私塾協同組合理事長 川邊洋一



東京私塾協同組合
理事長 鈴木幸広様



神奈川県私塾協同組合
副理事長 伊藤直樹様



茨城県私塾協同組合
元理事長 布浦万代様



静岡県私塾協同組合
元理事長 長沼滋様



第2部 来賓のご挨拶 (公社) 全国学習塾協会
副理事長 稲葉秀雄様



第2部 乾杯の音頭 塾全協会長 内藤潤司様



第2部 合同忘年会 ダンスショー



第2部 閉会の挨拶と一本締め

春降る雪は音もなく(16)

—児童養護施設の子供たち—

山崎 しだれ

シンとした真夜中の二人の声はひそひそと響いた。
おじちゃんの吸うたばこの匂いが漂ってきた。
「うんで、荃津さん、女子に何したんだ？」
「それさね…」
「なんだ、わかんねえのか」
「…いや…な、泊りの晩、夜の1時が見回りなんだ」
おばちゃんが、んつと咳払いをして続けた。
「そんな、中学生の女子の布団の中に手を入れるんだとさ」
「ひっ…」
「女子は、そりゃあびっくりするべさ。目を覚ましてな、叫ぼうとしたらな、荃津さんが笑ってたんだとよ」
「ふエ～」
「ひどいときは、”声出すな”って怒るんだとさ」
「じゃあ、前からあったんか」
「わかんないのさ。前の中三はもういないからな。けんどな、今の中二らはすぐに榎本先生に言ったのさ」
次郎と修はびっくりしてしまった。
そこに、電話が鳴ったものだから、襖の向こうもこっちも固まってしまった。
聞こえていない電話の声に、みんなの耳は集中した。
「ああそうかい。修ね…わかりました」
電話を切ると、おばちゃんがそつと襖を開けた。
「…修、ちょっと起きな」
修は眠っているふりをした。おばちゃんは、布団を少しはがして修を揺すった。
「修、ちょっと起きな。今な、園から電話が来てな、なんかな、お父さんの具合がだいぶ悪いらしいんだよ」
「…」
「んでな、川野辺先生が車で病院に送って行くから用意して待ってなさいってさ」
「いや、オレ、行かない」
「修、そんなでもな、川野辺先生はもうこっちに來るべさ」
「いや、オレ、行かない」
その時、車の音が生、玄関のチャイムが鳴った。
「ほら、川野辺先生だ。パジャマ脱いで着替えなよ」
修は布団に潜り込んだ。川野辺は、勢いよく部屋に踏み込んできた。
「修…病院に行くぞ」
「いや、行かない」
「お父さんの具合が相当悪くなって…」



「行かない。オレは、次郎と大阪に行くんだ。明後日の朝、大阪に行くんだ」
修は、布団の中でキツキツ突っぱねた。
「なつ、修、お父さんが、危篤状態に陥ったって病院から連絡があったんだ」
「…」
「わかるか、お父さんが危険な状態らしいぞ」
その時、修が布団からむっくり起き上がって大人三人に向かってハッキリ言った。
「あんな奴、いいんだ。もういいんだ」
「修、…聞け」
「…いいんだよ」
「いいか、危篤ってのはな、命が危ないってことなんだ。万が一な、万が一のことがあったら、もう二度とお父さんに会えないんだぞ」
「いいんだよ、会えなくてもいい。オレは、次郎と大阪に行くんだ」
修は、宣言するように言って鼻汁をすすった。みんな、言葉を失った。
その時、次郎がおもむろに起き上がった。
「修、…お前さ…けんどな、もう会えないかもしれないうって言ってるんだぞ。いいのか」
「うっせいなあ。いいって言ってるべ」
声を震わせ修は続けた。
「それに、オレの大阪行きはどうなるんだ。明後日の朝だぞ。次郎と大阪に行くって約束したべ、なあ」
だんだん涙声になってきた。
「クソォ、オヤジなんか…、アイツなんか、もういいんだ」
修はパジャマの袖であふれくる涙を、拭いた。
次郎が川野辺に聞いた。
「先生、危篤状態って、今にも、死にそうだってことだべ。死ぬってことだべ」
「…まあな、病院が言うにはもしかすると今夜あたりが危ないって」
「いいんだ。もう、アイツに、会わなくてもいい」

修の顔はゆがんでいた。
「なあ、修。もし、もしもだよ。万が一の時は、修はそれで本当にいいのか」

川野辺が優しく言った。

「…」

「なっ、それにだよ、万が一の時は葬式もしてやんないとな」

川野辺はさらに優しくかった。修は、口をきつく結び、悲しみと困惑を体いっぱいこらえていた。

「もし、お父さんが持ち直したらだぞ、その時は予定通り次郎と大阪に行ったらいいじゃないか」

少しの間があって、修はヨロヨロと立ち上がり着替え始めた。引きつるような嗚咽も始まった。もう、こらえることはせずに、ウウウウッと声を漏らした。

次郎はぬくもりの残るパジャマを拾い上げた。

「修、これはオレが持って帰るよ」

修は、悔しさと苦しみの混在した眼差しで震えていた。今まで夢見てきた次郎との“大阪行き”と、“たった一人の親の死”とのほざまに立たされていた。15歳の少年には辛すぎた。

修は少しはにかんだような苦しそうな表情で、震える声を絞り出した。

「…次郎、大阪に、…大阪と一緒に行くべな」

そういうと、静かに玄関に向かった。ノロノロと靴を履いて、玄関を出て行くとき、ふと振り返った。

「おじちゃん、これ、有難う」

おじちゃんにもらった手帳とボールペンをポケットに突っ込むと背を向けた。次郎は、修親子が歩く後ろ姿がそっくりだったことを思い出した。

家の前では、川野辺がすでに車のエンジンをかけていた。思わず、次郎が叫んだ。

「修、大阪と一緒に行くべ、なあ、待ってるからな」

次郎は、車のライトが見えなくなるまで立ち尽くしていた。家の中に戻るとおばちゃんが泣いていた。

布団の中で次郎は、車ごと海に突っ込んでいった両親のことをぼんやりと思い浮べた。しかし、両親にも兄にも顔がなかった。

「…会ってみたい…」

そんなことを考えているうちに深い眠りに落ちていった。

朝、目が覚めると寺橋のおばちゃんの家だった。次郎はあらためて部屋の隅々までじろじろ見渡した。筆筒の上には箱が積まれ、壁には数枚の洋服が下がっていた。隣の布団に修はいなかった。

文京学院

2025年、文京学院は創立101年目を歩み出しました。

2026

文京学院大学女子中学校
ネット出願



変わるなら、いまだ。

2026

文京学院大学女子高等学校
ネット出願



B 文京学院大学女子高等学校

〒113-8667 東京都文京区本駒込6-18-3

TEL 03-3946-5301 mail jrgaku@bgu.ac.jp

JR 山手線・東京メトロ南北線駒込駅下車徒歩5分

JR 山手線・都営三田線巣鴨駅下車徒歩5分



受験生特設ページ

「おはようございます」
襦を開けると、すでに朝食が並べられていた。

寺橋のおじちゃんとおばちゃんにお礼を言って、
玄関を出ると、すぐ近くに施設の大きな建物が見えた。

「おれが育った家だ」
次郎はしみじみと眺めた。

夕べの宿直の職員二人が、奥の方でひそひそ話していた。

「ただいまもどりました」
「おお、次郎君、おかえり」

職員の傍らには、茶色のコートを着た見知らぬ男
が一人椅子に座っていた。その時、他の職員がやって
きたので、次郎は、二階にスタスタと上がった。
そのまま修のベッドにパジャマを置いた。

修が帰って来ていないことが次郎を不安にさせた。

講堂では、今日来園するという知事のために早く
もピヒヤラ、ドンドコ鼓笛の音がしていた。

「ん、なんだ？」

自室のアカシア部屋に戻ったが、戸が開かない。
思いっきり戸を引くと、目の前に五歳のノボルが血
相を変えて戸を抑えていた。

「入ってくるな」
「お前か、ノボル。何やってんだ」
「出てけっ」
「出てけってな、ここはオレの部屋だぞ」
「出てけっ」

ノボルの後ろの隅っこに、二人の女の子が怯えた
表情で泣きべそをかいている。

「何やってんだ、ノボル。あの子たち、泣いてるぞ」
「うっせい。出てけっ」

次郎は、ノボルの剣幕に苦笑いをして、ゆっくり
しゃがんで視線を合わせた。

「ノボル、あの子たちは？」

次郎が女の子を振り返ったとたんに、ノボルは両
手を広げ二人の前に立ちちはだかった。

「あっちに行け、ダメ」
「どうしたの。話してごらん」

「ヤダ、だめ、ヤダ〜」
急に女の子が悲鳴のような声を上げた。

「わかったよ。ま、じゃあさ、西川先生を呼んでく
るよ」

次郎が立ちあがると、ノボルが次郎にしがみついた。

「次郎兄ちゃん、やめて、言わないで、呼ばないで。
エミちゃんたちがいやがってるから」

「一体、どうしたんだ。話してみなっ、ねっ」

学校法人駒込学園
駒込中学校・高等学校

2026【中学】WEB出願



2026【高校】WEB出願

駒込中学校

駒込高等学校

中学説明会

11月15日(土)14:00～「過去問題解説」
12月21日(日)「過去問題体験&解説」
①10:00～「私立型」
②14:00～(選択)「適性検査型」
「プログラミング入試」
「自己表現入試」

ホームページからお申込み下さい
〒113-0022
東京都文京区千駄木2-6-25
TEL.03-3828-4141 (代表)
<https://www.komagome.ed.jp>



高校説明会

10月25日(土)14:30～
「3コース説明と駒込の教育」
11月22日(土)14:00～
「過去問題解説 英語・数学」
12月6日(土)14:30～
「過去問題解説 英語・国語」

ホームページからお申込み下さい

※受験生の個別相談は随時実施しております。
頁にてお申し込みください。

<アクセス>
東京メトロ千代田線「千駄木」徒歩7分
東京メトロ南北線「本駒込」徒歩5分
都営三田線「白山」徒歩7分
都営バス草63「駒込千駄木町(駒込学園前)」



次郎が近づくと、女の子は身体をこわばらせた。
ノボルは、戸惑った。
「あのさ、次郎兄ちゃん。オレ、ホントはよくわかんないんだ」

ノボルは、女の子の方を見て言った。
「…だけどさ、エミちゃんとカナちゃんがなんかね、イヤだイヤだって、泣きながらトイレに隠れてたからさ、次郎兄ちゃんの部屋にかくしてやろうとおもってさ」

子犬を連れてきたときと同じだ。
「どっちがエミちゃんってどっちがカナちゃんなの？」
「ウンとね、こっちがエミちゃん、こっちがカナちゃん」

「…エミ、五歳…」
エミは右手をいっぱいに広げた。
「そうか、エミちゃんはお姉ちゃんなんだね」
カナは黙って三本の指を立てた。

「で、どうしたの？」
姉のエミが目には涙をいっぱいためて話し出した。
「…あのね、朝ね、ごはん終って、部屋に帰るときにね、その時ね、職員室に入って行くパパが見えたの。パパがね、パパが来たの。ヤダ、ヤダ」
「あ〜、もしかしたらあの茶色いコート着た人かい？」

エミとカナはそろって、うなずいた。

「パパが、イヤなの？」
二人そろってさらに深くうなずいた。

プロフィール

北海道生まれ。さいたま市在住。

～連載～

2010年～2022年 小説「空を見る子供たち」
※埼玉県私塾協同組合 SSK Report
2022年～ 小説「春降る雪は音もなく」
※埼玉県私塾協同組合 SSK Report

～単行本～

2023年 5月 小説「仕事の歌」刊行 文芸社
2023年 10月 小説「空を見る子供たち」刊行 文芸社
2024年 10月 小説「たった一人の裁判」刊行 文芸社



～教材～

2002年 『高校入試超基礎がため国語』刊行 旺文社

創立139年

高野山高等学校

特別進学 / 自己探求 / スポーツ / 吹奏楽 / 京教科

世界文化遺産 高野山で 学ぶ！

- 全日制普通科 / 特別進学/自己探求/吹奏楽 / スポーツ（硬式野球・女子ハンドボール・男子バスケットボール）
- 全日制京教科（全国唯一、高野山高等学校にだけ設置認可された専門科）

高野山高等学校 校長 橋本真人

学校法人 高野山学園
高野山高等学校
Koyasan High School

2026令和8年入試について
<https://www.koyasan-h.ed.jp/admission>

お問い合わせ
・資料請求
・オンライン相談

高野山高等学校：〒648-0288 和歌山県伊都郡高野町高野山212

TEL.0736-56-2204

国分 岳

「初夢の思ひしことを見ざりける」(子規)

「夢」という言葉は、二つの意味がある。一つは、やがて実現したいというポジティブな願望。今一つは、^{はかな}儂いモノ、頼りにならないコトといったネガティブな意味である。若い世代(小中高生)は、大志とまではいかなくとも未来に希望を抱くのが自然な姿である。一方、中高年者や高齢者は、儂さや虚しさを実感するようになるのが、一般的な言葉の解釈であろう。

最近、私は毎晩のように楽しい夢を見るようになった。だが目覚めて記憶として明瞭に残っていることはない。現役時代も夢は見たのだが、ほとんど悪夢ばかりであった。単身でフリーの仕事、企業に依頼されて「人材共育」(私の造語)の講習に行くのであるが、その講習会に遅刻しそうになる、という夢ばかりであった。替わりの者がいないので、遅刻・欠席は間違ってもできないのである。幸運なことに、現実には利用する飛行機、新幹線、列車が事故や悪天候によって、運行中止になったり、遅延したりすることはなかった。また自分で車を運転して会場に向かう時も、大渋滞や通行止めに遭遇することもなかった。しかし目的や状況が違って見る夢は、ただ一つ、遅刻しそうになりハッと目覚めるといふ悪夢ばかりであった。この悪夢は、仕事を辞めてからも2年間程は続いていたような気がする。悪夢から解放されてからは、楽しい夢ばかりを見るようになった。目覚めた朝は、夢の内容をもとにした面白い小説が書けるのではないかと、何回も思ったものであるが、文章にするだけの記憶は残っていない。目覚めて数分後には、

記憶はたちまち雲散霧消してしまうのである(忘れるのではなく、元々覚えられないという説もある)。以前より睡眠が楽しくなったことは間違いないが、夢を小説にすることは諦めた。(ノーベル賞作家大江健三郎に言わせれば、小説家安部公房は枕元に録音機を置いたり、手帳を置いたりして、いま見たばかりの夢を記録して「壁」という作品を書いたそうである)。

夢の登場人物は、多くは知人であるが、時にはまったく記憶にない男女が登場する。あるいは見たこともない外国人だったりもする。自分自身も黒人で、周囲の人すべてが黒人だった夢もある。会ったことも無い女性にプロポーズした夢、高級な外車のスポーツカーを知人を騙して取得しようとする夢、地上を俯瞰している夢、夢の中で、夢から覚めたという夢も見たこともある。夢の中では、自分自身を観客のように眺めている。またストーリーも奇想天外、時間の矢も前後に流れ、不合理な情景も満載の夢が、不自然でも不思議でもない当たり前のことのように物語が進行していく。感覚も感情も覚醒時と何一つ異なることはない。夢から覚めれば、あり得ない、滑稽なことばかりである。

微にいり細にいり夢を覚えている人もいるのかもしれないが、いずれにしても夢が脳と無縁なはずがない。ということになれば、脳科学者の書籍にも目を通したくなるのが自然だろう。ただし脳科学者は、断定を避ける。それは決定的な証拠を明示できないからである。人間の脳の生体実験はできない。現在の所、脳の外部から電子機器を使うことまでである。そのデータによって推測するしかない

い。それでも夢が脳の機能と無縁であると思う人はいない。一説によれば「睡眠は覚醒時の膨大な情報を整理し、取捨選択し、必要な記憶を定着させている」。これは一般的な理解であるが、すべてに科学的証拠があるわけではない。そしてまた夢の役割は不明である。体力的、精神的疲労を回復させるために、睡眠は必要であるが、それと夢がどう関わっているかはわからない。食わずに餓死するには、長い時間(日数)がかかるが、断眠状態が続けば、精神に異常をきたし、わずかな日数で死んでしまう。つまり生命にとっては、食事より睡眠が必須なのである。しかし、夢は生死に関わらない。夢で食事をしても空腹は満たされない。

『眠れない』という人がいると私は無神経に『二日も眠らなければ、三日目には嫌でも眠る』と実体験をもとに言ってきたが、それは睡眠障害で苦しんでいる人のことを知らなかったからである。

夢については、ギリシャや中国などでも紀元前から興味を示した哲学者や医者も多い。フロイトの「夢判断(分析)」が有名であるが、そのはるか以前から「一炊の夢」「胡蝶の夢」(中国古典に出てくる)という話もある。その後も、精神科の医師や心理学者などが多数の研究論文を発表しているが、明確に夢の必要性を解き明かした学者はいない。夢をみなければ、生命の維持が困難になるとは思えない。

シカゴ大学のユージン・アセリンスキーの夢に関する科学的発見は、画期的であった。それまで睡眠中、いつ夢を見ているかわからなかったが、睡眠中に^{まぶた}瞼の下で眼球が急速に動くレム(REM)睡眠(=Rapid Eye Movementの略)時に夢を見ることが解ったのである。他者が肉眼で見て解る現象である。その時に脳波が変化しており、目を覚まさせると夢を見ていたと答える。現実の画像として、夢そのものがディスプレイに映し出され、第

三者が他人の夢を見ることができるようになる日が来るかもしれないが、それまでは夢のストーリーは、言葉で語るしかない。そうになると語る人の表現力、訊く側の質問力、傾聴力が問題になる。睡眠障害の患者から夢を訊きだすことは、一層難しくなる。

生物の進化において、不要なもの、役に立たないものは、退化する大原則がある。夢は身体でもなければ物質でもないが、人類の生存以来、夢を見てきたと推測される。夢は人間の生きる上で必要欠くべからざるもののように思われる。その科学的証明がなされることを「夢に見て」いたいものである。

「^{やん}旅に病で夢は^{めく}枯野をかけ廻る」(芭蕉)

〈了〉

書名 睡眠の科学(改訂新版)—なぜ眠るのか、なぜ目覚めるのか—

著者 櫻井武

出版社 (株)講談社

発行年 2017年

概要 一般向け書籍。睡眠にはノンレム睡眠とレム睡眠の二種類があると解り、その二つの睡眠の違いを知ることが、睡眠の科学のスタートである。ノンレム睡眠が深い眠りであり、レム睡眠が浅い眠りという訳ではないことも解ってきた。睡眠の対照は、覚醒であるがその関係も読み進む内に解ってくる。第7章の素朴な疑問を先に読んだ方が、楽しめる。「何時間寝ればいい?」「目覚ましは鳴る前に起きるのはなぜか?」「時差ぼけが起こるのはなぜか?」「夢にも役割がある?」「寝だめはできる?」「なぜ眠らなければならぬか?」な

どである。

書名 ヒトはなぜ夢を見るのか

著者 北浜邦夫

出版社 (株)文藝春秋

発行年 2000年

概要 25年前の出版だから、その後の新しい知見もあるので、旧説も載っていることに留意が必要である。しかし学者、研究者の常として睡眠覚醒に関する物質があるのではないかと、という姿勢は変わらない。睡眠物質と覚醒物質については、第4章で触れている。一種類ということではなく、日本でも発見されている。当然、逆のいわゆる「覚醒剤」も見つけている。「夢をみる」(見るという視覚だけでなく、聴くという聴覚など他の五感もある)時に、なぜ現実感があるのか。レム睡眠時に夢を見るが、ノンレム睡眠時には、夢をみないといわれている(現在はノンレム時にまったく夢をみないとは断定できないようだが)。睡眠の必要性は解るが、なぜ夢をみるのかは、発行年頃には、よく解っていないようだ。

書名 夢を見る時脳は一睡眠と夢の謎に迫る―

著者 アントニオ・ザトラ、ロバート・スティックゴールド

訳者 藤井留美

出版社 (株)紀伊國屋書店

発行年 2022年

概要 最初にフロイト以前、19世紀後半の研究者5名の論文の概要を紹介する。さらにフロイト、ユングなどの見解について述べ、現代の夢研究を解説する。誰もが例外なく夢を見るが、絵空事として無視し、実生活に影響を与えないと共著者たちは言う。そして「めいせきむ明晰夢」について第14章で語る。それが本書の特徴の一つといえる。明晰夢とは、睡

眠中に自分が夢を見ていることが解り、場合によっては夢の内容をコントロールできる特殊な夢のことだと言う。著者たちが、夢の役割についてあげているのは「夢は睡眠依存する記憶進化の一形態である。多くはそれまで気づかなかった予想外の連想を発見し強化して、既存の情報が新しい知識を引き出す」と述べているが、確固たる証拠は示し得ていない。夢はやはり謎なのだろうか。

書名 脳のもたらず奇怪な出来事―脳と心の深淵に迫る―

著者 ガイ・レジュジナー

訳者 高橋洋

出版社 (株)河出書房新社

発行年 2020年

概要 著者はロンドンで睡眠障害の治療に従事する神経科医。治療の実践を通して、数々の事例を紹介する。睡眠障害とは、以下の通りである。睡眠相後退症候群、非二十四時間睡眠覚醒症候群、夢遊病、夜驚症、寝言、睡眠時無呼吸、情動脱力発作、むずむず脚症候、てんかん、睡眠麻痺、入眠時幻覚、睡眠時性的行動症、睡眠関連摂食障害、睡眠障害クライン・レビン症候群、不眠症などが取り上げられている。いかに私が睡眠障害を知らないか、ということを実感した故の病名の羅列となった。書名の“奇怪な出来事”の具体的な症状は一読してもらえば解る。

プロフィール

1943年東京生まれ、現在、名古屋在住。

1963年大学中退、元人財共育コンサルタント。

真の教育を求めて (其の3)

—江戸時代の教育にあって現代の教育にないもの—

宇野 和秀 (一般社団法人 教育問題協議会理事)

1. 過去に学ぶことの意味

令和7年9月26日付の産経新聞に、「女兒盗撮動画共有容疑の教員再逮捕」、「塾で中学生わいせつ容疑で大学院生逮捕」という記事が取り上げられた。子どもの教育に携わったり、大学院まで進み学びを深めてきた者が、自分自身の感情をコントロールできない、こんな状態を生み出しているのが今日の教育の現状である。これでは親は子どもを安心して学校や塾にやることができなくなるのではないだろうか。こんな時だからこそ、もう一度人を立派な人格者に育てるにはどんな教育をすればいいのか、教育の目指すものはなにかを再考しなければならない時が来ているのではないかと考えざるを得ない。

教育とは多義的な言葉であり、捉え方によって180度異なった指導が行われることになる。多くの知識をそのまま丸暗記させる教育法と、一つの知識の根源を深く探り、それを窮めさせる教育法があり、どの方法で指導するかにより子どもの将来が大きく変わってくるのだ。文科相の指導により各学年ごとにカリキュラムがぎっしりと組み、それを消化することに教育の主眼が置かれているのが現在の学校教育である。そんな環境の中で、子ども達は習ったことを自ら思考し心に浸み込ませる余裕など全く与えられず、ただ強制されて学校に行き、教えられた教科内容の暗記することに追われる毎日を送っているのだ。前回学ぶ目的を見失った東大生の例を取り上げたが、小・中・高で必死に学び、優秀な成績を修めトップレベルの東大に入学したものの、これから自分はどうか生きていけばいいのか全く解らない学生が増えているのが現実である。しかし学校は生徒を大学に送り込むことが最終目的であるので、それが実現できた時点でその学校は高く評価され、その後の生徒の悩みなど学校教育には関係のないことなのだ。しかし生徒にとって本当の人生はそこから始まるのだ。多様な価値観に日々揺れ動いている現実社会のなかで、「自分はどうか生きていけばいいのか」、「正しい生き方は何だろうか」という人生にとって最も根本的なことを考える指導も時間も与えられないままに成人となり、世の中に放り出されるのが現状なのだ。それから先は自分自身で考える他はない。生徒達にとって教科指導より大切な人生教育が全く欠如しているのが現代の学校教育なのである。

2. 江戸時代の教育から学ぶこと

現代の教育の問題点について上述してきたが、



これと全く逆の指導が行われていたのが江戸時代の教育であった。江戸時代の教育なんて古くて役に立たないとか、とっくに捨て去ったものを今更持ち出してもどうにもならないと言われることは承知の上だ。しかし私たちは古いもの、現代では役に立たないものと捨て去ってしまったものの中に、ピカッと光り輝くものが潜んでいることに目を向けようとしなさい。私は江戸時代の教育について文献を漁ってみたが、今では完全に捨て去られた江戸時代の教育の中に、現在こんな教育が行われていたら多くの子ども達は目を輝かせて学ぶだろうと思われるような、光り輝く方法が数多く見つけ出されるのである。そこでその光を現代に向けてることができないだろうかと考えて、私は江戸時代の教育に目を向けてみたいのだ。

3. 江戸時代の教育が求めるもの

(1) 江戸時代には、武士、庶民に係らず最も大切なものを持っていた。それは、そこに住み日々の生活を営む「家」であり、そこで生活を共にする「家族」であった。当時の人々にとって、「家」はただ雨露をしのぐ場所ではなく、そこは代々先祖が住みその中で生活を通して得たものや学んだものを後継者に伝え、受け継いだ者はそれを大切に保存していく重大な責務を負ったのである。しかしそんな大役を後継者ただ一人で守り続けていくことは不可能で、家族が一丸となって取り組まなければならなかった。彼らはそれがどんなに辛くても不平を言ったりそこから逃げようとすることはなかった。むしろその辛さを乗り越えた後に味わうことのできる、より大きな達成感を信じていたのだ。家族が力を合わせて家を守ることの大切さは、戦国大名毛利元就の「三本の矢」という言葉の中に現われている。元就は晩年になった時、三人の息子呼び寄せ、息子一人一人に、それぞれ一本の矢を渡し、「それを折ってみよ」と命じた。三人の息子たちは軽々と折ったので、今

度はそれぞれに三本の矢を渡し、「今度はそれを折ってみよ」と命じたのだが、今度は息子たちは三人とも折ることができなかった。一本の矢はたやすく折ることができるが、三本纏めると折れないことを感じさせ、毛利家が戦乱の世を生き残っていくためには三人の息子たちが結束して家を守ることが大事だということを身をもって伝えたのである。聖書のマタイ伝 12 章 25 節にも同じような次の言葉がある。

A house divided against itself cannot stand (a house divided cannot stand) pillars of stability.

これも同じ内容であるが、歴史を遡ると西洋でも同じ考えに支えられていたことがわかり、非常に興味深い。このことから、家を守ることが江戸時代の人々の生活を支えていたことが明白であるが、そんな中で鍛え上げられた力が、江戸時代の人々の生活を支えていたのだ。その強さが子ども達の学びの姿勢にも貫かれていて、それが世界に誇る識字率の高さを示したのではないだろうかと思はれている。

(2) そんな環境の中で、自分は何のために学ぶのかという学ぶ目的を子ども達はしっかり理解していたのだと思われる。武士は成長して藩主に召し抱えられたときに立派な仕事ができるように学びを通して大きな人格を備えた人間に成長することを願って学び舎（藩校）に送り、庶民は自分の家をしっかりと守り崩壊させないために毎日の生活に欠くことのできない「読み、書き、そろばん」を教える寺子屋に預けたのだ。江戸時代も後半になると経済が飛躍的に発展を遂げ、村や家は自給自足ではやっていけなくなった。田畑を売るにも買うにも金銭の貸し借りに証文が幅を利かせる社会となり読み書きの知識がなくては生きていけない時代となった。そこで庶民の中からも、社会で一人前の人間となるためには寺子屋に通い社会に通用する学問を身に付けさせる以外にはなかったのである。しかし一人の子どもを一人前の大人に育て上げるには、寺子屋の師匠だけでは不十分である。江戸時代の教育は、たとえインフラが貧弱であっても、ヒトを人格を備えた人間に育て上げることにおいては現代よりもはるかに優れていた。「文字文化習得の寺子屋」、「広汎に成立した家と家族」、「村や町の地域」が、あるときは競合しながらもゆるやかに連携し、一体となってひとつの教育組織を形成し、社会全体で生まれたての赤ん坊を一人前の大人に仕上げた。また文字教育とは離れるが、地域ごとに若者組という組織があった。若者組はその地域で 15 歳になるとその組に入会し、そこでしばらく家族から離れて組の集団の中で生活し年長者から組の決まりを厳しく教え込まれることになる。我儘や厳しいからと

いってそこからの逃避は許されないのだ。そんな集団生活の中で子どもから一人前の大人に成長していくのである。若者組は 15 歳から 30 歳くらいまでの体力ある若者すべてを組織して村・町共同体の維持にあたった。非常事態の火事、海難などの災害への出勤、重病人が出たときの医者迎え、特に祭礼の執行に大活躍した。任務は住民の命にかかわるので、宿を設けそこに寝泊まりして非常時に備えたのだ。甘えや油断があっては事故につながる。当然厳しい規律が求められた。若者条目の多くが宿勤めを重視し、新入りに徹底させている。半人前の生意気盛りの若者を一人前の働き手にするために、いつしか条目が定められたともいえる（『江戸の教育力』高橋敏著 ちくま新書）。このことから解かるように江戸時代の教育はただ知識の詰め込みだけでなく、社会全体で鍛え上げスケールの大きな人間に育てることを考えていたのである。

(3) 学びは学ぶ者が主体でなければならない。

江戸末期の思想家である吉田松陰は自塾松下村塾に入門を希望してくる若者に向かって、「どうして入門したいのか、なぜ学問をしたいのか、学問を通して将来何をやりたいと考えているか」を厳しく問いただしたという。入門者が明確な学問の目的を有していないなら、いくら高度な学問を授けてもものにならないと考えていたのだ。松下村塾に限らず多くの私塾では、師は入門者に対して同様の質問をし、それに明確に答えた者だけに入塾を許可し徹底指導をしたという。そこでは、たえず自己変革を怠らない者、広い視野から日本の進むべき道を真剣に模索しようとする者、無私無欲の発想で大胆に社会変革に挑む者たちが数多く育っていったのである。私塾の教育は、事実をただ事実として子ども達の前に差し出すだけの客観主義の教育ではなく、そこに師の生き方が絡み、同時に弟子の生き方にも迫っていくという教育が展開されていたのだ。弟子は師の深い教えに真正面から向き合い、それを体全体に受け止めていったのだ。

ここで、真剣な学びを通して大きく成長した人物の例を挙げる。それは私がいま学んでいる山田方谷の例である。方谷は江戸末期（1805）年に現在の岡山県高梁市中井町西方に生まれた。かつて山田家はこの地の豪族で古い家柄を誇ってきた家柄であったが、方谷の曾祖父の起こした事件により、全財産没収のうえ所払いという厳しい処分を受けることとなった。山田家再興の鬼と化した方谷の祖父とその志を引き継いだ父との二代の怨念ともいえる悲願を背負わされて生まれてきた方谷である。封建時代の「家」に対する執着は今では信じられないほど危機迫るものがあった。方谷はそんな期待に応えるかのように熱心に勉学に励

み、後に藩主に認められて 32 歳で藩校有終館の学頭（校長）に命じられた。ここで方谷は祖父と父の念願であった山田家の家名を再興させ、その後も藩政改革という大事業を成し遂げ教育にも大きな業績を残したのだ。学びは明確なそして強い意志をもって取り組まなければ大成しないということを山田方谷は教えてくれているのだ。これは教育に関する生きた手本である。現代の教育の中に、まず学ぶ姿勢を徹底的に教えたら、生徒の取り組みが変わってくると思われるのだが如何であろうか。江戸時代には山田方谷だけでなく歴史に名を遺す人物が続出しているが、これは江戸時代の教育が功を奏したのではないかと私は考えている。

4. アメリカ人を驚かせた「和の国」日本人

嘉永 6 (1853) 年ペリーが黒船に乗って日本に開港を迫った 3 年後の安政 3 (1856) 年、初代の駐日公使タウンゼント・ハリスが日本に到着し、その翌年 (1857) ハリスが江戸に向かうために領事館を後にした時、日本人の生活ぶりを見て感動し次のように述べている。

「彼らはよく肥え、身なりもよく、幸福そうである。一見したところ、富者も貧者もない。これが恐らく人民の本当の幸福の姿というものだろう。私は時として、日本を開国して外国の影響を受けさせることが果たしてこの国の普遍的な幸福を増進する所以であるかどうか疑わしくなる。私は質素と正直の黄金時代を、いずれの他の国におけるよりも多く日本において見出す。生命と財産の安全、全般の人々の質素と満足とは、現在の日本の顕著な姿であるように思われる」と。(渡辺京二著『逝き世の面影』平凡社)

日本を開国させ新しい文明を植え付けさせようとして来日したハリスは、貧富の差にこだわらず豊かな精神文化生活を営んでいる日本の庶民の生活を見て驚き感動したのだ。日本人は自然の中に溶け込んで生きていた。その中で生きるものはすべて一体であり、お互いが助け合って生きることは当然のことと考えていたのではないだろうか。これに対して西洋では、自分がすべての中心にあり、それを妨げる自然と対峙して生きることが人間の正しい生き方であるという考え方が支配していた。1620年、宗教の対立によりイギリス本土からアメリカ新大陸に移り住んだイギリス人達（プロテスタント）そこを開拓して自分たちが住むために、その地の原住民であるインディアンを殺害した例からも解るように、自己中心で自分にとって不利益となる他者を排除するこの西洋思想が今日の世界を支配している。わが国でも、子どもは偏差値により、社会人は金銭の多寡によって人間を差別する社会になっている。

この両者の生き方のどちらが人間にとって幸せな生き方であろうか。私たちはこの点についてもう一度高い視点に立って考えてみる必要に迫られているのではないだろうか。

プロフィール

京都府出身。塾講師8年経過した後1990年所沢に「椿峰進学塾」を開塾する。家庭の都合により2023年3月に閉塾。

著書①『子どもをダメにする親・伸ばす親』（主婦の友社）
②『子どもが10歳になるまでに親はコレさえすればいい』（教育資料出版会）

＜①と②は学校外研究会の共著＞

③『現代教育の危機そして再考』（文芸社）

所属団体

（一社）全国教育問題協議会理事
『中国古典研究会』主催

高校生で起業、K-POPも研究対象♪ 「好き」が学びに変わる！
自由な環境で、未来を切り拓く力を育てます
中央大学への推薦枠約94%（うち法学部約30%）※2025年度実績



中央大学附属中学校・高等学校

2026年度
ネット出願

〒184-8575
東京都小金井市貫井北町3-22-1
JR中央線・武蔵小金井駅 / 西武新宿線・小平駅
TEL: 042-381-5413

詳細は
こちら
→



こどもがひらくマルチバース 第一界

聖徳学園小学校生徒作品



ほたる (小2)

「夜がこんなによく見える。蛍のせいだ。私の体にも夜の明るさがしみこんで、光を出すのではないかと思います。」

2年生の国語の授業で行った『蛍』という教材の一文。授業では、「白と黒の世界」をテーマに、物語を聞いて感じた世界を墨絵で表現した。そこには、子ども一人ひとりがイメージ世界に没入する中で捉えた光と闇の世界がある。多くの子が、蛍が飛ぶ風景を描く中、この子は「星空を描いた」と述べた。それは、具体的な場面ではなく、イメージ世界全体の印象を描いたと言えるだろう。暗闇の中で明滅する蛍の光、その明るさが、夜空に浮かぶ星空と重なり、「夜の明るさ」として描き出されたのだと推測できる。



◀ 無題 (小2)

のびのびしたクレヨンのタッチとマジックの無機質な線の対比、暖色を基調としながら寒色が差し込まれる配色に目を奪われる。放射線状に放出されるエネルギーが画面を覆い、それぞれのモチーフが響き合う。作者の創作に触発され、みているこちらにも楽しい発想が続々と浮かんでくる。具体的であり抽象的な作品。

編集部より

昨年令和 7 (2025) 年は戦後 80 年の節目。あの戦争が何であったのかは今も議論かまびすしく、「自虐史観」対「歴史修正」という単純な構図に収まるものには無いものでした。明らかにキナ臭い方向へとこの国は舵を切っています。

防衛力の増強やそのための予算増額、インテリジェンスの強化、スパイ防止法などなど、「国家安全保障」を強固なものにしようという動機自体に偽りは無いでしょう。が、政府も識者たちも、その言動は米国をはじめとする西側諸国の発する情報を真に受けすぎ、彼らのパラダイムを模倣しすぎていないでしょうか。

そうした特定の軸足一本に偏った「安全保障」の努力は、もう片方の足を踏み下ろすところを破壊するエネルギーを発動しないでしょうか。あらゆるイデオロギーや利害関係を超越して、全ての人々は「平和」を求めている。戦争によって儲けている人々として、自分や家族の「平和」は求めている。それなのになぜ人間の一般意志は、戦争を引き起こしてしまうのか？

ここに「太平洋戦争」当時の裏の世界を知る、いや知りすぎた人物の靈魂を招来します。

石川敦氏 (筆名) は当組合顧問戸田敦子先生の御尊父様です。陸軍中野学校将校として世界各地で諜報活動等の任務を遂行するも、サイパン玉砕時に捕虜となり、米国で終戦を迎えました。ようやく帰宅した時にはすでに“英霊”で、その後は米軍情報機関囑託も経て雑誌編集や執筆活動など八面六臂の大活躍。ここに石川敦氏の経験をモデルにしたドキュメンタリー小説『中野学校』(昭和 34 [1959] 年) を復刻します。

いわゆる反戦文学ではありませんが、日本が勝てば消される運命にあったのではないか。

生死の狭間を往来するのが人生、という超絶経歴から紡ぎ出される放射性球状思考とでも呼ぶべき多面的な分析記述は、凡人には全容理解困難です。が、読者それぞれのフックにかかった糸をたどって、戦争の実相の一面に観入してもらえればよいのではないかと考えています。ご一緒にします。



第一章 非情の檻

I 影のない男

昭和十七年六月末、太平洋戦争の高潮するさなかに、アメリカからの船が横浜埠頭に横づけになった。船から降りてきたのは、野村、来栖の両大使をはじめ宇喜多ハワイ総領事以下の外交官、その他留学生、貿易商社員などで、グルー米大使ら日本に生活していたアメリカ人たちと交換の帰国であった。

少数の外交官と別のタラップをぞろぞろと降りた多くの一般交換乗船者の群れは、卓子を並べた税関吏たちの前に、長い列をなして立った。審問は詳細を、というより峻厳をきわめたといった方が適切であろう。列は容易に進まず、待ちくたびれた人々のなかから、火がついたような乳呑み児の泣き声、幼い子どもたちのむずかりが起っても、税関吏たちは、冷酷な審問をいっこう早めようとしなかった。そればかりか、この列の両側から、鋭い眼を光らせた特高と憲兵が、敵国の臭いを身につけているこれらの引揚者を、首実検するように監視していた。

あまりな長時間にわたって列が動かないのに、しゃがみこんだり、トランクに腰かけたりする者がぼつぼつ出てきた。すると、そうした一人の青年のもとへ、つかつかと一人の憲兵が近寄って声をかけた。

「あなたが佐藤敏幸さんですね、外務省留学生の？」

青年は振り向いて、少し慌てながらうなずいた。

「そうです。私が佐藤だけれど、何かー？」

曹長の肩章をつけた憲兵は、肩幅もガッシリと広く、

少しさんぱくの鋭い眼を据えながら、猪首を廻していった。

「ちょっと特別な調査がありますので、これからすぐ東京の憲兵隊司令部まで同行してください。」

「しかしまだ、上陸調書を済ませていませんが」

「いやかまいません。必要書類は、あとで憲兵隊に廻してもらいます」

憲兵曹長は、そこで言葉をきると、税関吏に何かを囁いた。うなずいてみせる税関吏の片頬に、さっと緊張がはしる。しかも憲兵は隣りにいる特高刑事には何ひとついわず、佐藤敏幸を列から抜いて一緒に歩きだした。佐藤のいた跡の空席は、詰めてくるうしろの男たちによって、たちまち埋められてしまった。平凡な市民の列のなかにある自分の席が失われたのを、佐藤敏幸は実感として受けとった。そしてふたたび、市民の列へ帰ることのない旅路への出発がこのときだったのを、彼はあとになってハッキリ知った。しかし、このときそれを知覚したからとて、いったい何になったろう。もはや自分の意志で後戻りすることなど許されぬ運命が、曹長と一緒に憲兵隊司令部へ向かったとき、みごとに用意されていたのだった。

星章をつけたカーキ色のセダンは「憲兵」の腕章を右腕に巻いた伍長が運転していた。横浜と東京をつなぐ京浜国道は、佐藤敏幸が渡米した頃にくらべて、めっきり交通量が減っているのが判った。それを「かえって幸い」といわんばかりの速度で、カーキ色のセダンは疾駆した。

このとき、もし佐藤敏幸が敵国のスパイだったら、すれちがうトラック、セダンの数の少なくなったのを見て、軍需生産に狂奔する日本の戦力が、南方、中国、満洲などで猛威をふるい戦果を揚げる派遣軍をまかなうのに、どれだけ銃後で苦しみ、もがいていたかを見破ったはずである。

それほどまでに至らなかったにしても、アメリカの充実した軍需工業力をまざまざと見てきた佐藤の眼には、はっきりと看破できるものがあった。星と錨のマークをつけた陸海軍の車輛は、新しく手入れや整備もゆきとどいていたが、軍需工場のトラックはややそれに劣り、青果・魚市場その他民間商人のものは、まさに屑鉄になる一步前、というポロ車ばかりではないか。戦争が激しさを増し、兵器生産が急ピッチで上昇するアメリカでは、すでに年間十萬機の飛行機と、一日平均 1 万トンといわれる造船造艦能力がある。その他新型自動小銃、戦車、上陸用舟艇、レーダーまで大量生産の域に達して、新装備充分な一千万の兵力の動員が可能となった上、銃後の軍需産業労働者にまで、ますます豪華で性能もよくなる自動車を、平時とほとんど同じテンポで供給している。それに比べて余りにも底の浅い日本の工業力を目のあたりに見せられた気がして、佐藤敏幸は胸が凍りつくのを感じた。

——この戦争は、絶対に日本の敗けだ。いくら逆立ちしても！

不吉な確信だったが、それをくつがえすだけの根拠は、芝の赤羽橋から祝田橋を抜けて森厳な皇居前にさしかゝっても見当らなかった。——外務省留学生としてハワイ総領事館に出向を命ぜられ、真珠湾奇襲を成功に導くほどの諜報活動をして、死の影におびえつづけたスパイの努力も、いわば、ひとつの狂った、無益、有害な行為だったのか。あるいは、さらに進んで、亡国の悲境へ、祖国と同胞を突き落す手伝いをしたのではないか。とすれば、忠誠の行動と信じてきたのに、実はまったくの売国奴の所行だったことになる！

佐藤敏幸は、暗い悔恨にうたれてじっと目をつぶった。が、そうした彼の思念を、深く追求してはいらなかった。皇居前を走り過ぎたセダンは早くも竹橋に近づいて急にスピードを落とし、ブレーキをかけたからだ。

「憲兵司令部だ。降りろ！」

別人と化した憲兵曹長の、威丈高な声がひびいた。つい先刻までのいんぎんさは失われ、憲兵の本性をむきだしにした曹長は、まさに白い牙を剥いている獣のような態度だった。

東京憲兵隊司令部——その三階の一室に案内された佐藤敏幸は、そのまましばらくの間、一人きりに放っぼりだされて、次第に不安に駆られはじめた。

そこの窓からは、濠ひとつ隔てた宮城の東側がひと目で見渡せる。東部軍司令部、近衛四聯隊なども、つい目と鼻の先きである。軍人会館、偕行社、野々宮ビル、靖国神社が並んでいる九段坂も、手をのばせば届くようなところにある。

つい半年ばかり前、世紀のスパイと云われたゾルゲ諜報団が捕まり、この司令部できびしく取調べられたこと、そのなかの英人コックスが、訊問の際を窺って窓から飛び降り、頭蓋骨を砕いて自殺したことも、佐藤敏幸はすでに知っていた。もし彼に何かの疑いをかけられているなら、そうした失策の経験を持つ憲兵隊が、彼を独りで放置しておくわけではない。多分相当な将校が使っていると思われる調度の部屋へ、こうしていきなり案内するわけもない。とすれば、これはどうやら、優秀な諜報成績をあげた男、という折紙がついている自分に、陸軍の枠へはめこむ宣告をする気だ、と彼は気がついた。もしこれを避けようとしても、逃げきれぬ黒い牙にもはや自分の身はかけられている……。

やがて不気味な足音をひびかせて入ってきたのは、中佐の階級章をつけた憲兵将校だった。

「やあ、待たせて済まなかったな」

当惑と緊張で軀を固くした佐藤を見据えながら、憲兵中佐は大きな事務机に両手を突いて腰をおろし、それまで右手に持っていた書類をおき、頁をめくりながらいった。

「第二課長の塚田だ。ハワイでは御苦労をかけたな。外務省とも話し合っ、君の身柄を陸軍で貰った。これからも活躍を頼むぞ」

ひとりの人間が、いのちのない兵器として、簡単に扱われている事実を、この憲兵将校は平然と云ってのけた。愛情、人権などは、まったく無視されていた。いや、はじめから考えてもみないのだ。召集令状さえ出せば、兵隊はいくらでも集められる。だが一挺の小銃も、簡単には製造できない。兵器の方が人間より貴重だという倒錯した観念を、この目の前にいる将校は、無造作に云ってのけたのである。しかしふしぎに、佐藤は抵抗する考えは出なかった。たとえ抵抗しても、それがどんなに無益で、かつ無力かということを充分知っていたからだ。

「大学は東大だったな。政治学科か。徴兵延期三年、米国では経済学専攻……郷里に許婚者がいる。父は医師、第二人……君が死んでも、あとの家系は絶えない……適格……」

いつの間に調べたのか、財産から思想、性格、系譜、近親に至るまで、克明に記入されている身上書を、塚田中佐は独白するように読んでいった。

「君には、本日附で、郷里の聯隊区司令部から召集令状が出されたぞ。一週間後、仙台の部隊へ入隊してもらうのだが、これから申し渡す任務を承諾すれば、万年二等兵で、しかも除隊のない運命から解放して

やるが——」

ちょっと中佐の口もとが歪んだのを、佐藤敏幸はめざとく視線にとらえた。

米国に留学していた佐藤を、このまま市民のなかへ復帰させたら、それは虎を野に放つのおなじだと軍では気がついたのだ。足止めとして、帰国即日軍に召集してしまえば、これほど有効な方法はない。軍隊は武装した監獄の性格も併せ持っている。ともあれ佐藤敏幸の生殺与奪の権は、目の前に坐った初対面の軍人の手に握られている。この憲兵将校は、まさに残忍な屠殺者でもあるわけだ。屠殺者は、犠牲をおさえつけ、心の中で血に渴いた笑いを噛みしめていた。

「気をつけ！」

とつぜん呷鳴りつけてきた塚田中佐の大声に、佐藤敏幸は、反射的にかかとを合せ、不動の姿勢をとった。中学、高校、大学を過ごしてくるあいだ、彼とても配属将校にさんざん油を絞られた経験がある。軍事教練はそのころ、すでに中等学校以上においては正課になっていた。殊に佐藤が中学のころ、まだ戦争が身近にはなかったので、士官学校は出たがきびしい陸大の入学試験をすべった万年少佐、中佐らが、田舎の県立中学あたりにも配属されていた。士官学校から、せいぜい術科学生を卒えた程度の将

校は、よくいっても聯隊長で予備役に編入され、まず将官になれる当てなどなかった。しかもそのくせ、甲種中学卒業生には、下級尉官に任官できるだけの資格を与え、戦争拡大のときは幹部に宛てる、という軍の方針が、教練課目のおしつけとなり、行き場のない佐官クラスは現役のまま学校配属となった。彼らは兵営に戻れる日を夢みながら、よく無然として愚痴った。

「聯隊にいればなあ、佐官から上は馬に乗って通えるのだぞ。家の雑用は当番兵がやってくれる。まったく神さまぞい。それが、学校配属となればこのザマじゃ。小便臭い青二才のお前たちに、“気いつけ、”敬礼、“駆け足、”と号令かけてなあ、校長より位も勲等もたかい、高等官四等が泣きだすわい」

……だが、そうしてよみがえってきた年少の日のあまい追憶は、正面に向き合う憲兵中佐の硬い表情を見たとき、佐藤の胸から急にしぼんでいった。

『一人の憲兵は、優に一個聯隊を動かす』という権力に支えられている選り抜きの兵たちを、さらに手足のごとくに指揮する憲兵司令部課長が、そこに厳然とかまえているのだ。巨大な黒い牙が、塚田中佐の背後にありありと見えるようだった。

「軍はいま特別の目的のために、政情将校を必要としている。お前を、その任務につかせたい。軍事教練



藤枝明誠高等学校（静岡県）

〒426-0051 静岡県藤枝市大洲2丁目2番地の1

TEL 054 - 635 - 8155 FAX 054 - 635 - 8494

【URL】 <https://www.fgmeisei.ed.jp>

【E-mail】 meisei@fgmeisei.ed.jp



HP QRコード

静岡県の私学で トップクラスの大学合格実績

- * 東京大学・京都大学をはじめとする旧帝大、
国公立大学医学部に合格者多数
- * 早稲田大学・慶応義塾大学・上智大学等、
難関私立大学にも合格者多数

充実の奨学生制度

- 奨学生制度により奨学金授与
- さらにスカラシップ制度による奨学金
(入試成績上位者に対し、3年間で36万円～72万円)

入学試験日 令和8年2月3日（火曜日）



課程終了のお前が、あらためて二等兵から出直す必要もなく、特別任用によって、中野学校乙種学生を命ずる。もっとも、自由意志は認めておるから、嫌やなら断ってもいいぞ……」

休め！ と呶鳴った塚田中佐は、少し調子を柔らげて先きをつづけた。

「中野学校がどんなものか、入校してみれば判るが、とにかく相当しぼりあげられるところ、ということだけは云っておこう。しかしだ、考えてみる。士官学校をのぞみ、必修課程を卒えたわれわれ将校でも、予科生徒をやって上等兵で隊附。軍曹になって本科へ戻り、本科の課程が済んでから、ようやく見習士官。そしてどうやら少尉任官だ。これは、幹部候補生から予備士官学校を出て予備少尉、即日召集になる特進将校でも同じだぞ。つまりなあ、見習士官までの苦しい道中を、スッパリと切りすてて、いきなり見習士官の資格で学生になれるんだ。いままでの中野学校学生も、みんなそうした径路を通ってきた予備士官学校出と、士官学校出のなかから優秀なものを選んできたし、現在もそうだ。そのなかへ、お前だけ別格扱いで入校できるのは、海軍の諜報士官と一緒に活躍した経歴を、特に考慮しての上なのだ、戦争がつづくかぎり、まず召集をのがれることなど、絶対出来ないな。この要望を断れば、反軍思想と断定される。そうなれば、召集に召集の追打ちがあって、しかも万年二等兵か一等兵で、戦争が終るまでひっぱり廻される。それより、いっそ将校になれ。任務はつらいが、兵隊よりは恵まれているぞ、承知なら、すぐに仙台へ連絡して、北部軍司令部の召集を解除

してやるが、どうだ？」

その言葉には、のっぴきならぬひびきがあった。進退きわまった感じだった。黒い牙にかけて消される男、今日から自分の影がなくなる！ と佐藤は感じた。中野学校がどんなものか、彼はすでに知っている。だが、逃げきれぬ運命なら、いっそのこと、みずから壁に身を投げてみる、ではないか。運命は、案外な方向へ展げてくるかも知れない。

「御厚意に感謝します。よろこんで一命を陛下に捧げます」

「よく云ってくれた。これで小官も骨折り甲斐があった、というものだ。郷里への手続も、これから直ちにしておく。それから、入隊は追って知らせるが、期日を違えず、覚悟して上京して来い」

帰ってよろしい、という言葉聞いて佐藤はその室を出たが、横浜から護送してきたあの傲慢な憲兵曹長から、トランクなどを受け取ったとき、どっと目先きが暗くなるほど疲れをおぼえて思わずよろめいた。

憲兵司令部を出てようやく、九段の坂下に立った佐藤敏幸は、重いトランクを両手に提げて都電に乗るだけの気力はなかった。といて、タクシーはまばらに通るだけだった。たまに来て、殆ど空車はない。芽生えのおそい公孫樹並木の蔭に腰をおろした彼は、暮れなずんでいく神田の街を眺めながら、放心したように動かなかつた。いや、動けないのだった。

佐藤敏幸は、ともかくも一たん仙台のわが家へ戻つ



オープンスクール 9:00~12:00 ※要予約
体験入学・説明会 10:00~12:30 ※要予約

7/27 8/24 6/21 11/1

入試説明会・個別相談会【要予約】

AM 9:30~12:00
PM 13:30~15:30

AM 入試説明会	PM 個別相談会	PM 個別相談会	PM 個別相談会	AM 入試説明会
9/20	9/27	10/11	10/18	10/19
AM 入試説明会	PM 個別相談会	AM 入試説明会	PM 個別相談会	AM 個別相談会
11/9	11/15	11/23	11/29	12/14
AM 個別相談会	AM 個別相談会	PM 個別相談会		
12/25	12/27	1/7		

2026
埼玉平成高等学校
ネット出願



2026
埼玉平成中学校
ネット出願



※入試説明会では、個別相談・校内見学も可能です。
 ※上履きをご持参ください。
 ●予定を変更する場合があります。HPで最新情報をご確認ください。

—充実したコース制—

S特進コース
特進コース
進学コース

西武線入間市駅・稲荷山公園駅・狭山市駅・飯能駅及び
JR線高麗川駅・武蔵高萩駅よりスクールバス運行中

学校法人山口学院

埼玉平成高等学校

〒350-0434 埼玉県入間郡毛呂山町市場333-1 TEL.049-295-1212



た。温かく、懐かしく迎えてくれた父母、弟たち、そして許婚の小夜。——滴のような若みどりにつままれた東北の初夏だった。柔らかい葉をとおして、明るい陽ざしが湿った土をぬくもらせ、すでに田植の終わった田園と、すくすく伸びる畑の作物をわたってくる風は、胸もふくらむほど爽やかな香りを持っていた。林檎の花が散る五月はじめには、山の根雪もとけ、そのころいちどきに芽を出した樹々が、六月の末には、こうして緑の絨毯になり、ふるい、城下町の周辺を包んでしまうのだ。

そうした久しぶりの日本の姿を、郷土の香りを、佐藤敏幸は噛みしめるように懐かしんだが、一步しりぞいて考えたとき、郷土が懐かしいだけ、わが身が疎ましく、もはやわが身とはいえぬ自覚にせまられずにいなかった。幾日と経たず、入隊期日を通告する電報が届けられよう。そのとき彼は、"軍、という、死神と化した巨大な、そして暗黒の集団のなかへ引き立てられていくのだ。

わが家を囲む新緑のすがすがしさも、許婚の小夜のたびたびの来訪も、いまは却って佐藤敏幸の胸を重くするばかりであった。——俺はすでに、巨大な黒い牙に掴まれた、影のない男なのだ！

宿命のなかに浮き沈みしながら流されて行く自分

の姿が、佐藤の眼底にありありと映じた。流れの果ての惨めさは知れていながら、それは不可避のものだった。

そうして郷里にいること一週間、佐藤敏幸は陸軍省兵務局防課に入営を命じるという令状を受領したのである。

第一章 非情の檻	1
Ⅰ 影のない男	1
Ⅱ 別荘の心、三三の歌	1
Ⅲ 連帯罪	1
Ⅳ 生きている亡霊	1
Ⅴ 銃後の秋風	1
第二章 真珠湾の日本開戦	58
Ⅵ 新しき起征者	58
Ⅶ 開戦前夜の謀報戦	58
Ⅷ 美しき三重スライ	58
Ⅷ 燃ゆる真珠湾	58
X 殊死を組んでいたもの	58
第三章 大義の捨石	120
Ⅷ 将軍と参謀と大と謀報部屋	120
Ⅷ 天皇御批再講義	120
Ⅷ マー！快活隊の表に	120
Ⅷ 鉄腕の謀者長田	120
Ⅷ 謀報術科	120
Ⅷ 内心に燃え魂に燃え	120

著者紹介

筆名：石川敦（いしかわ あつし）。大正十年（1921）埼玉県生まれ。陸軍諜報班員として活躍。戦後、米軍情報機関囑託を経て、石川敦調査統計研究室代表取締役。全国主要工場、産業都市、企業等数百社の取材・調査により収集した記録、資料は膨大。企業研究書やドキュメント小説など多数執筆。主な著作に『米軍の諜報戦略』『中野学校』『特命社員』など。平成十三（2001）五月鬼籍に隠れる。



- ・JR京浜東北線
- ・東京メトロ南北線
- ・都電荒川線

王子駅より
徒歩 10分

駿台学園中学・高等学校

駿台学園ホームページ
<https://www.sundaiga-uena.ac.jp>

2026
駿台学園中学校
ネット出願

2026駿台学園高等学校
ネット出願

駿台学園なら、「自分らしい」学校生活が見つかる！ 駿台は、キミの目標実現のため一緒に走ります。

学校説明会 日程 予約制 【中学】 各回 10:00~ 【高校】 各回 13:30~ ※11/23のみ 10:00~

【中学】 8/2(土) 8/30(土) 10/25(土) 11/22(土) 12/6(土) 12/13(土) 1/10(土) 1/17(土)

【高校】 8/2(土) 8/30(土) 9/13(土) 10/4(土) 10/25(土) 11/8(土) 11/22(土) ※11/23(日祝) 11/29(土) 12/6(土)

●SSK活動の記録

- 10.23(木) 研修会
 レイボックホール(大宮) 10:30～12:00
 「デジタルとアナログの融合学習で生徒も学習塾も大きく変わる!」
 ★ICT教材のフル活用・オンライン英会話講座の開設等々★
- 11.20(木) 理事会
 レイボックホール(大宮) 10:30～12:00
- 12.7(日)
 私塾協同組合連合会「全国研修大会」 & 「学習塾合同忘年会」
 会場: 大宮サンパレスGLANZ
- 第1部 講演 15:30～17:30
 「あなたの塾にはワンフレーズで伝わるキャッチがあるか？」
 ～大転換期を乗り越える術!～
 講師 PS・コンサルティング 代表 小林弘典 様
- 第2部 懇親会 18:00～20:00
 「SSK年末情報交換会 & 学習塾合同忘年会」

秀明中学校 秀明高等学校

〒350-1175 埼玉県川越市笠幡4792番地 Tel:049-232-6611(代表) info@shumei.ac.jp



2026

秀明学園は多様性と包括性の最先端

2026



秀明中学校ネット出願

秀明高等学校ネット出願

◆ 中学は全寮制 全国から生徒が集う…北海道・青森・宮城・新潟・群馬・栃木・茨城・埼玉・千葉・東京・神奈川・愛知・岐阜・大阪・福岡・沖縄
 首都圏唯一の「全寮制・中高一貫校」

◆ 高校では新たに高入生を迎える(寮生・通学生)
 それぞれの生徒が互いの違いを
 認めて受け入れる



Diversity + Inclusion

入試室直通電話:049-232-3311 受付時間:月曜～金曜 8:00～17:00



組合加入へのお誘い

埼玉県私塾協同組合とは
昭和62年7月10日設立
埼玉県認可私塾協同組合です。

会費 月 5000 円

出資金（加入時）1口1万円

下記本部事務局にお問い合わせ頂ければ、早速申込書をお送り致します。定例会・イベント等もお気軽にお越し下さい。



埼玉県私塾協同組合事業ご案内

☆通常総会 ☆定例会(隔月):各種研修会等の報告、得意分野等の実践報告、教育や経営情報等の交換会 ☆中高入試説明会(年1回) ☆全国研修大会(私塾協同組合連合会)参加 ☆組合忘年会 ☆私塾フェア ☆機関誌「SSK REPORT」発刊:組合広報活動 ☆組合公式Webサイト運営 ☆メール、FAX等による情報交換 ☆「公立・私立」の合同フェア後援活動 ☆協同組合連合会及び友好団体との情報交換活動 ☆受験情報速報 ☆協賛企業による特別価格物品販売 ☆顧問税理士による税務相談:豊野会計事務所

【本部事務所】

〒350-0822 川越市山田東町1707-3
英進学院内:坂田 義勝
TEL 049-224-7193
FAX 049-224-3342

【広報事務局】

〒344-0059 春日部市西八木崎3-17-7
戸田 敦子
TEL 048-763-3886 FAX 048-763-3892
E-mail:ats001@mtg.biglobe.ne.jp

◆ 埼玉県私塾協同組合加盟塾一覧(2026年1月1日現在・順不同) ◆

コード	塾名	代表者名	住所	電話
12	英才予備校伸学院	山口 伯	越谷市弥十郎727-13	048(977)2803
39	雅学習塾	荒瀬 雅美	草加市遊馬町286	048(928)3540
50	東大セミナー	網代 浩	白岡市実ヶ谷1080-2	048(769)2731
54	小泉塾	小泉 明	熊谷市籠原南3-345	048(532)0683
74	学習舎	戸田 敦子	春日部市西八木崎町三丁目17番7号	048(763)3886
84	教育学院	岡村 麗子	さいたま市緑区東浦和7-17-5	048(874)0791
90	英進学院	坂田 義勝	川越市山田東町1707-3	049(224)7193
97	ステップ	山田 千里	さいたま市浦和区北浦和5-15-16	048(832)2312
98	木下英数教室	木下 和子	さいたま市見沼区御蔵72-12	048(686)1146
101	新井塾	新井 恵詞	比企郡嵐山町菅谷230-3	0493(62)8101
105	花田義塾	佐藤 祐輔	越谷市花田4-18-22	048(964)1184
106	早野塾	早野 正峰	草加市谷塚仲町325-6	048(927)1351
107	歩学舎	丹羽恵美子	ふじみ野市旭1-13-56	049(261)9062
108	野田塾	野田 純子	鴻巣市生出塚1-13-9	048(541)2249
112	ケンアイゼミ	川邊 洋一	深谷市上柴町東5-5-20 アーバンYS106-101	048(573)8919
117	エルモカレッジ	小川 久美	草加市谷塚225	048-928-1800
118	エルモゼミナール	鈴木 亮介	草加市草加3-3-32 ミキハイツ1C	048-951-1380
125	ソロモン総合学院	内藤 潤司	狭山市中央1-4-13	04(2959)3750
128	サイエスクール <small>サイエイ・インターナショナル</small>	福島 隆	さいたま市北区宮原町2-127-1	048(669)0503
130	吾妻稲門ゼミ	根本 義明	所沢市北秋津116-17	04(2925)8934
132	セルモ川越新宿教室	大久原 秀一	川越市新宿町5-6-14	049(265)8433
135	学修塾 ダンデリオン	本荘 雅一	川口市東本郷1131-1 第二寿マンション102	048(430)7217
136	名学館ライフガーデン東松山	島 健	東松山市あずま町4-8-8	049(335)4119
141	学習空間埼玉西部エリア	坂井 尊	川越市新宿町6丁目26-4	049-238-0030
143	修徳スクール	石川 和男	さいたま市浦和区東岸町9-20 新山ビル2階	048-711-7618
144	株式会社ブレイン	稲毛 淳	三郷市三郷1-11-2 402	0489-99-5289
145	五宏スクール	五十嵐昭宏	日高市武蔵台1-23-10	090-9952-4552
146	自律学習塾 MIND UP	佐田 マキ	越谷市東柳田町11-16-1F	048(930)7070
147	双葉個別指導学院	嶋村 伸夫	狭山市広瀬3-17-6	04-2955-6106
NEW⇒ 148	(株)アーリーバードカンパニー	道井 正子 (賛助会員)	茨城県取手市藤代南1-7-8	0297-95-8008

進研 Vもぎ 塾内で進研テスト

塾内でご実施できる進研テストでの学力診断をおすすめします。対象 小学4年生～中学3年生

中学1～3年
成績表

信頼できる合否判定！

公立・私立・国立高校合わせて4校を判定。
都立高校については、内申点と偏差値（得点）の総合得点により判定をします。

都県内同学年全在籍中推計順位・塾内順位・
教室内順位を表示。 ※非表示にすることも可能

弱点チェックに！

各教科の内容を領域別に
分けて正答率を見える化。



進研 Vもぎ と連動！

5科、3科、教科ごとの偏差値推移。
中3は「進研テスト」と「Vもぎ」を合わせて表示！

復習に便利な
まとめ答案

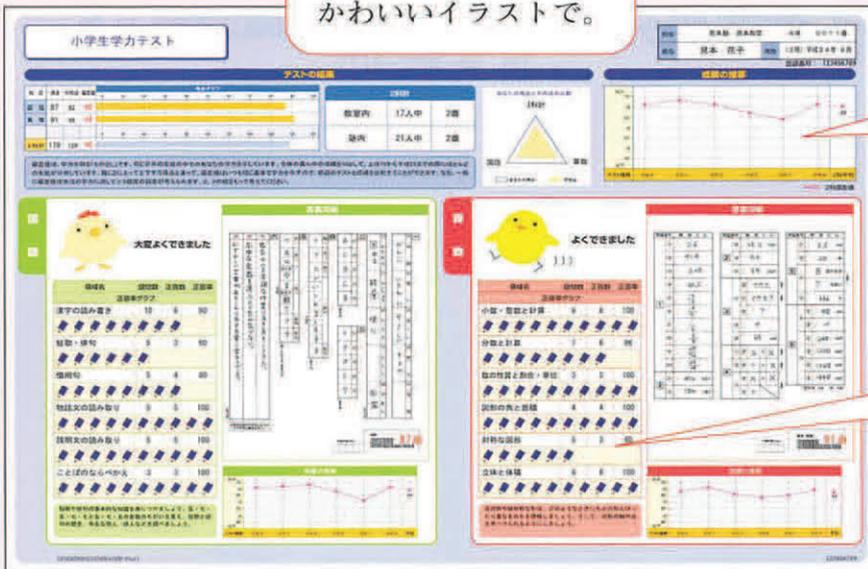
教師用として、成績一覧表・成績順位表の他に、領域別小問分析表など、ご提供します。

小学4～6年
成績表

小学生には
かわいいイラストで。

**成績の動きが
分かりやすい！**

4科、2科、
教科ごとの偏差値
推移。



各教科それぞれ
領域別に正答率を
表示。弱点領域が
一目で分かり、
さらに、具体的な
学習アドバイスも
ついてきます。

サンプルご希望の方は  進学研究会 まで ☎03-3952-4171



◀ 宇宙までのびた木と鳥 (小3)

「空想の世界」を構成する美術の活動で生まれた作品(下記2作品も同様)。画面下部から上部に向けて、大きな木が立ち上がり、地上から宇宙へ伸びあがっていく。その垂直性を活かすかのように、鳥が配置される。イメージの広がり方を木で、そこをなぞっていく自分を鳥として描いたようにも見える。木の持つ装飾的なフォルムに、鳥の自由に広がりのあるフォルムが重なり合っている。絵の中から様々な形が浮かび上がって見える点もポイント。

超ヤモリ天使 (小3) ▶

様々な洞窟を大胆でリズムカルな構成で描き、その上に真っすぐな主役を配する。作者の爬虫類への愛情が、ヤモリ天使の書き込みと、画面構成に現れている。特に、天使部分=羽はレインボーに塗り重ねられ、洞窟の世界と響き合い、モノとイメージという二つの思考の橋渡しとなっている。



◀ 空を飛ぶ鳥 (小3)

飛びながら人や動物を幸せにする鳥。羽のグラデーションが美しく、どこか世俗離れた表情も注目される。画面下部に配置された椅子には、暮らしの痕跡が、背景の山の鳥居にはこの世界にあった信仰が醸されている。現在この地には人がもう住んでいないのかもしれない。幸せな画面の背後にさみしさの表現を垣間みることができる。

恐竜ジオラマ (小2) ▶

化石からイメージを立ち上げ作品化したもの。力強いイメージが、化石に肉を、色彩を、場面を与え、命を吹き込んだ。モササウルスはこちらに向かって大きく口を開け、危機的状況に全く気が付かないシーラカンスを捕食しようとしている。イメージは命のやり取りの瞬間を捉えたのである。



学校紹介 アップデートする西武台 3



佐賀 博 (西武台高等学校 西武台新座中学校 理事長 校長)

翻訳の難しさ

本校の中学3年生は、修学旅行として『オーストラリア語学研修』を行っています。修学旅行のしおりの挨拶に「オーストラリア」がなぜ「豪州」と表記されるのかについて書きました。調べると、明治における外国語の流入の対応に、当時の人達はかなり苦労していたことがわかりました。概略は以下のようです。

外来語を日本語に3つのパターンで翻訳しました。

1 外国語の翻訳：漢字で、外国語の概念を翻訳する方法です。「電話」(telephone)「心理」(psychology)のような翻訳語として作られた漢語(新漢語)がそれです。

2 外国語の音を漢字で表記:漢字の意味ではなく、漢字の音を使用した方法です。漢字で「倶楽部」と書き、ルビで「クラブ」を添え、発音を表示するものがそれです。

3 外国語を直接仮名に音訳:現在のカタカナ語に最も近い方法です。

今回のオーストラリアは2に該当し、「濠太刺利」と漢字に当て「濠」は常用漢字でないから、「豪」を使い、イギリスの一部とみられて「州」で表記されたとのことでした。

翻って、現代の外来語の取り入れ方は、かなり苦しいものがあります。これから時が過ぎれば慣れるとは思いますが、違和感を持つものが多くあります。私にとってその例は、『リベンジ(revenge)』です。本来は、「傷つけられたり不当に扱われた人が仕返しで、自分自身の手で、相手を傷つけたり危害をあたえること」、マイナス要素が多い言葉で、復讐、



報復、そして仇討ちの意味がありました。しかし、松坂大輔さんが使い出した「目標達成のために再挑戦」、といったより前向きなニュアンスで使われることが大変多くなりました。

また、『非認知能力』も大変理解に苦しみました。最初にこの言葉と出会ったときに『認知をすることが出来ない人が持つ能力』ってなに?と受け止めました。『認知症』は認知能力が低下したものと理解していましたからです。non-cognitive skillsを分解して翻訳すると、「cognitive」は、「認知の」「知覚の」といった意味を持つ形容詞で、その前に否定の「non」がつくので、『非認知』、そして「skills」は能力だから、『非認知能力』になります。翻訳としては間違っていないかもしれませんが、しかし、日本語としての理解を前提に行っていないように感じます。この日本語を大事にしていなかったところに、日本の将来に不安を感じています。

非認知能力の向上

翻訳はともかくとして、この数値化しづらい能力は、重要なことは理解しています。一般に非認知能力には「意欲を見せる力」「目標を決めて取り組む力」「周りの人と円滑なコミュニケーションをとる力」「新しい発想をする力」などがあります。ただ、客観的な数値化はしづらいのですが、主観での状況の可視化は出来ると思います。

今あげた、4つの力は前回述べた「総合的な探究の時間」をアップデートで対応します。1年次における『地域探究』では、『意欲』を持っている姿、課題設定をして『目標』に取り組む姿、他者との『コミュニケーション』をとる姿、そして新しい『発想』の様子について丁寧に教員が観察していきます。生徒が「総探」を行うだけに留まらず、その内容を教員が評価することによって「非認知能力」を可視化することが出来ます。そして、それを生徒の皆さんにフィードバックすることにより、「自己肯定感」、「粘り強さ」、「協調性」が高まります。

西武台では、令和8年度に向けて、新座、志木、朝霞、富士見、ふじみ野、三芳と連携して『地域探究』を1年生で実施します。そして、次の10のテーマに分かれて活動します。

- ① 地域の伝統と文化【文化・歴史・芸術】
- ② 高齢化と地域福祉【福祉・医療・人間関係】
- ③ 子どもと教育支援【教育・福祉・子ども】
- ④ 環境とゴミ問題【環境・サステナビリティ】
- ⑤ 公共交通と移動【都市計画・インフラ・交通】
- ⑥ 地域商業の活性化【経済・農業・地域振興】
- ⑦ 防犯と安心安全【防犯・安全・行政】
- ⑧ 外国人住民との共生【国際理解・多文化共生】
- ⑨ 地域の農と食【農業・食・環境】
- ⑩ 空き家とまちづくり【都市計画・地域再生・住環境】

現地でのフィールドワーク、アウトプットのための構成、そして、多くの人達をお迎えしての発表会を行います。また、令和9年度生は、前年の先輩達の発表を入学後に聞き、それを更にアップデートした課題解決に取り組みます。生徒の「非認知能力」を育み、地域と連携し、地域を元気づけるための「西武台地域探究」を行います。

N-uni 設置の理由

西武台から国公立大学に進学をして欲しいという気持ちで設置をしました。最初の設置理由は、感覚

的でした。それは、学費が安いという経済的なメリットと、学生一人あたりに考えたときの施設設備の充実度、そして指導教官の手厚さの三点でした。しかし、そのような実利的な部分とともに、よくよく考えたとき将来の生徒の成長を考えると国公立大学志望が重要だと気付きました。

国公立大学を志望したときにある大きな壁『共通テスト』受験の必要性を感じたからです。私立大学の受験科目を考えたとき、文系を例にすると、国語、英語、地歴公民の3教科となり、数学、理科は『捨て科目』になります。ここで、多くの生徒は高校入試の時と同じように『捨て科目』を大学入学後にリカバリーができると誤解をします。高校入試で捨てた科目があったとしても、高校では学ぶ機会が設けられているから、大学でも同様に『捨て科目』を学ぶ機会があると思っているところがあります。しかし、当然大学ではそのような機会がありません。つまり『捨て科目』は一生捨ててしまうこととなります。経済学部に進んで、高校数学を学んでいないと、その後の生活には大きなマイナスになります。受験科目にない場合は、どうしても学習のモチベーションを保つことが難しくなります。そこで、多科目を学習するモチベーション維持の意味も込めて、国公立大学を推しています。

それらの裏付けとして、11月には埼玉大学准教授に2回、熊本大学准教授に1回、西武台で『国立大学教員が語る国立大学の魅力』の講演会を西武台受験生、保護者向けに実施しました。私たち、大学の外から見ているとわからない事を丁寧に話していただきました。この講演会を聞き、私自身改めて国公立大学進学を勧めていく根拠をいただきました。

令和8年度より、西武台は大きくアップデートします。これからも皆様のご理解ご協力をお願いします。



河合 孝允 (駒込中学・高等学校 校長)

Trust is important for everything,(ことごとに信
あるべし)

この言葉は 17 条憲法の言葉です。どのような時代が来ようと守られるべき人間社会の鉄則の言葉です。しかし、これが揺らいでいます。近年 SNS 上のフェイク言語が人々の欲得心を絡めとっているからです。Z 世代の若者たちにとって、SNS 上で 3 回主張されれば真実となるという現実が生まれて居るのです。バーチャル (仮想空間) の中での事実は、リアリティーを喪失した言葉でしかないのに、あたかもそれが事実であるかの如く認知されていきます。例えばアルピニストにとって「山」と言う言葉は、一本のザイルに身をゆだね、オーバーハングした岩壁を乗り越え山頂に立ち、汗と努力の褒賞として満天の星づく夜の自由の大気を呼吸した「感動の言葉」として存在します。しかし、どこかの飲み屋の酔っ払った人間に「山」と言ったところで何の感動も引き起こせはしません。富士山もヒマラヤもエベレストも画像で見ただけではその山の偉大さを知ったことにはなりません。

ひるがえって、「学びの世界」も同様です。一つの詩を読み取るためには、その詩を自己の内面の旅路において登攀しなければならないものです。当然、100 人いれば 100 通りの読み取り、受け止め方がそこにはうまれます。しかしそれでは「テスト」は成り立ちません。文章構造の「起承転結」の「読み取り能力」を判定するだけの「能力テスト」となります。その優等生が社会に出たところで、人生の機微を察知して素敵に渡り終えることなどできません。「学校の秀才、人生の落伍者」はいくらでもいる時代なのです。

学びの要諦は、五感を駆使してその人間の持つ「聡明さ」を引き出すことに尽きます。ブッダは言い切ります。「聡明な人はすでに渡り終えている」と。その人の「人生の大河」を無事渡り終えることの出来る「聡明さ」を「教育」は与えねばならないのだと申せましょう。

子供たちは皆、大切な神仏からの授かりものです。和顔愛語の優しい子供はそれだけで国の宝です。で



もそういう子供たちは傷つきやすく不登校になりがちです。孤独に耐える力は必要ですが孤立させてはならないでしょう。本校はそういう子供たちの心の砦として本年 100 周年を迎えます。「孤塁を守り千里を照らす將、これ国宝なり」の理念を守り育てます。同時に、責任主体を学校として確立し、「信なくば立たず」の学校運営を大切にしていきたいと思います。ご賛同いただける御家庭の子弟をお待ち申し上げます。

末尾に、受験生への一言を申し添えておきます。ご理解いただければ幸いです。

…今自分がいちばん大切にしたいものは何ですか？リストカットを繰り返し施設に収容された女子生徒と話をしたことがあります。彼女は言いました。「リストカットは死にたいからやるのではありません。頭の中をごちゃごちゃにする「もう一人の自分 (ドラミ)」が現れた時、ドラミを消し去るためにやるのです」と。この世の中には「自分の思いのままにならない苦」があります。誤解される苦があり、愛別離苦があり、執着心から離れられない苦があります。そのことを分かってくれる大人が必要です。皆さんは未来からの来訪者です。子供たちの苦しみや悲しさの分かる大人になって下さい。駒込は楽しい学校です。歌声の流れる学校です。それは、友達の心の痛みが分かる生徒集団だからです。次のうたの分かる人はぜひ駒込に来てください。お待ちしております。

やわらかに 柳青める北上の 岸辺目にみゆ
泣けとごとくに

叶えたい未来はここから始まる!



佐野日本大学高等学校



令和7年度大学入試

現役合格率 **98.5%**

日本大学372名合格

法30名、文理57名、理工54名
生産工学46名、薬6名、歯2名 など

国公立大学..... **37** 名合格

他難関私立大学等 **180** 名合格

令和8年度**入学試験**
入試日程



第1回入試	令和8年1月6日(火)	指定校推薦入試 推薦入試(単願・SN) 一般入試(単願) 併願プラス入試
第2回入試	令和8年1月18日(日)	推薦ランクアップ入試(単願) 一般入試(単願) 併願プラス入試
第3回入試	令和8年1月25日(日)	一般入試(単願)
出願 11月28日(金)~15日(月) ※最終日のみ窓口提出が可能です。		

出願はこちら

共学校 普通科・運輸科

UENO STATION MEMORIAL

2026

岩倉高等学校ネット出願



※WEB予約

2026年度入試
学校説明会/個別相談会

- 第1回 9月 6日(土)
- 第2回 9月27日(土)
- 第3回 10月25日(土)
- 第4回 11月 1日(土)
- 第5回 11月15日(土)
- 第6回 12月 6日(土)

岩倉祭

- 1日目 9月20日(土)
- 2日目 9月21日(日)



岩倉高等学校

東京都台東区上野7-8-8 TEL 03-3841-3009



CONVIVIAL SCHOOL REFORM

現役講師の声から生まれた正統派映像講義!



レベル別構成で
無理なく学習!

映像講義
場所・時間を問わず
何度でも受講

定着力UP
理解度確認
チェックテスト

充実の内容
受験全範囲を
網羅して構成

学習効率でライバルに差をつける!

大学受験映像講座

E-xpert

株式会社 SYM

〒153-0041 東京都目黒区駒場2丁目8-1 横山ビル1F TEL: 03-5478-7066

SSK Report

埼玉県私塾協同組合 ● 広報誌

<https://www.saikumi.net>

Vol.182

2026.

冬号

SSKReport Vol.182

2026年1月13日（次号2026年4月発行予定）

●発行 埼玉県私塾協同組合

●発行人 坂田義勝

●編集人 本荘雅一

●頒布価格 500円

●発行部数 500部

●報告・執筆協力者

坂田義勝（英進学院塾長）／佐賀博（西武台高等学校 西武台新座中学校 理事長 校長）／河合孝允（駒込中学 高等学校 校長）／鹿田正昭（国際高等専門学校校長）／尾糠清司（あさひ未来塾塾長）／久保昌央（駒込学園中学校 高等学校 国際部長）／中川節子（元町田市立小川小学校教諭）／水谷敬／大水秀樹（東星学園中学校高等学校）／山崎しだれ／国分岳／宇野和秀（一般社団法人 教育問題協議会理事）／石川敦／川邊洋一（埼玉県私塾協同組合理事長）

『SSK Report』編集部からのお知らせ

『SSK Report』編集部では、読者の皆様からのメールを受け付けます。おおむね以下の内容で自由にお寄せ下さい。

- *『SSK Report』内容に関するご意見・感想・質問・要望・提案など
- *エッセイ、PRなどの投稿
- *『SSK Report』編集部からの取材・誌上での紹介をご希望される方や各種団体、機関等。自薦他薦ともに

送信先：honjo@gkdan.com

本荘雅一 まで

件名に「SSK広報誌編集部行」

皆様からの貴重なドキュメント、お待ち申し上げます。



●編集後記

■本号より新シリーズを一挙に4本開始します。

【子どもがひらくマルチバース】小学校低学年生徒さんの絵画作品紹介コーナーです。10歳未満の子供の精神世界は、まだ「分母が夢」であると教わったことがあります。夢を見ないAIでは表象できないイメージ世界、生命運動を見出せるのではないか。それは私たち人間が本来持っている能力発動の原態を教えてくださいませんか。最初に登場するのは聖徳学園。「自己教育力の強い児童」という意味での「英才児教育」サポートでも知られています。期待を上回る衝撃の作品群。どうぞご堪能下さい。

【児童の言語生態研究】小学校教員達による児童の言語活動から掘りどる人間生命活動の原理探求の記録です。子ども達の発することは論理体系以前の、人間が本源的に持つイメージ運動を表現するもの。人間の本質的な生態として究明します。子どもの言語表現は未熟で未完成なのではなく、偽らざる生命燃焼としてとらえ直してみる。

Z世代以後の、スマホに子守られAIに指導される子ども達がどうなっていくのか、「児童の言語生態」というフィルターを通して、これからの時代の子どもの生成発展とどう向き合っていくかを考える視点を提供してもらえれば、と思います。

【グローバル教育の最前線】本シリーズ名は駒込中学校の河合孝充校長先生に命名していただきました。今やどの学校でも必須プログラムのように海外研修を実施しています。各学校を巣立つ生徒達は、国内で生活しても海外に出ても、何らかの形でグローバルステージに立つことにはなりません。そこで生き抜くために、学校ではどのような核を、生徒た

ちの中に生成させようとしているのか。つまり海外研修の単なるメニュー紹介ではなく、そこに込めた哲学を中心に語っていただくコーナーです。最初の「最前線」には駒込中高に立ってもらいました。

生徒学生など若い人達が海外で学ぶことを奨励する国の狙いは、これからの日本人が、外国人とのコミュニケーション能力を高め、外交・交渉や経済活動の活性化、そして軍事的協働など、政治経済軍事的な「国力」を高めようというものでしょう。しかし駒込高校では海外研修とは、多様な文化に接することで多元的な思考力を涵養し、「寛容で開かれた精神を育成する実践の場」と定義づけられる。「忘己利他」即ち「慈悲の心」を備えた若者を送り出すという大方針がよくうかがえました。そのような「人材」を多数輩出できることこそ、本当の「国力」なのでしょう。

【知られざる最強インテリジェンス中野学校】昭和34年発行『中野学校』の復刻です。現在の対外情報機関としては米CIA、英MI6、イスラエルのモサド、ロシアのSVR、中国の国家安全部、韓国の国家情報院などが知られています。折しも政権与党の「連立政権合意文書」でも「国家情報局」創設が謳われました。国際的なスパイ戦に参入しようというのですが、本誌ではこれを後押ししようなどという意図は全くありません。

戦時中世界でも最高レベルと言われた諜報機関「中野学校」の諜報員たちですら、その多くは凄惨な末路をたどったと聞き及んでいますが、なんと、当組合顧問戸田敦子先生のお父さんが、この「中野学校」の希少な生き残りの一人なのでした。ですが本企画を進めている最中に連立合意文書が世に出てぎょっとし、このま

ま立ち上げるか逡巡しました。けれど戦争を遂行する側の内実を知り尽くした貴重な証言は、ぜひ読者の皆様と一緒に私も読みたい。予定通り、戸田先生には復刻の労を取っていただくことにしました。

■西武台新座中学・高校の学校紹介最終回。非認知能力の涵養と、全教科学習を通じての総合養成を混然一体とさせてゆくお話を頂きました。ありがとうございました。

■駒込中学・高等学校の学校紹介連載開始します（全4回）。リストカットを繰り返す少女の言葉「(死にたいからではなく)頭の中をごちゃごちゃにするもう一人の自分を消すためにやる」を読んで、得心がきました。今まで関わってきたリストカット常習の女子生徒達は、一様に明るくて活発な子が多かった。それはカムフラージュではなく、実際にそういう性分だけど、一人になると何かが現れる。そういう特殊感性の持ち主だったのか、と。そんな子供達をこそ、宝物として迎え入れる学校。駒込高校の本懐ですね。

■国際高等専門学校も連載スタート（全4回）。なぜかイギリスのイートンカレッジのイメージと、私の中ではダブっていました。グローバルステージで活躍できるための言語・教養・文化資本を土台としつつ、科学技術のエキスパートを養成するという、一般にはなじみが薄いけれど何か独特の気概にあふれた教育機関。加えて霊峰白山の麓という霊景のなかでの学び舎であることが、英国国教会に属するイートンの原風景とも重なるのだろうかと、勝手に妄想してしまいました。

■まだ温めている企画もあります。これからの『SSKReport』、どうぞお楽しみに！

(本荘雅一)